

(5) 動植物の生息又は生育、植生及び生態系の状況

1) 動物

ア. 重要な種及び注目すべき生息地の状況

ア) 野生動植物保護地区の分布

「野生動植物保護地区内訳表」（環境省）によると、山梨県には自然環境保全地域の野生動植物保護地区に指定されている地域は存在しない。

イ) 鳥獣保護区の分布

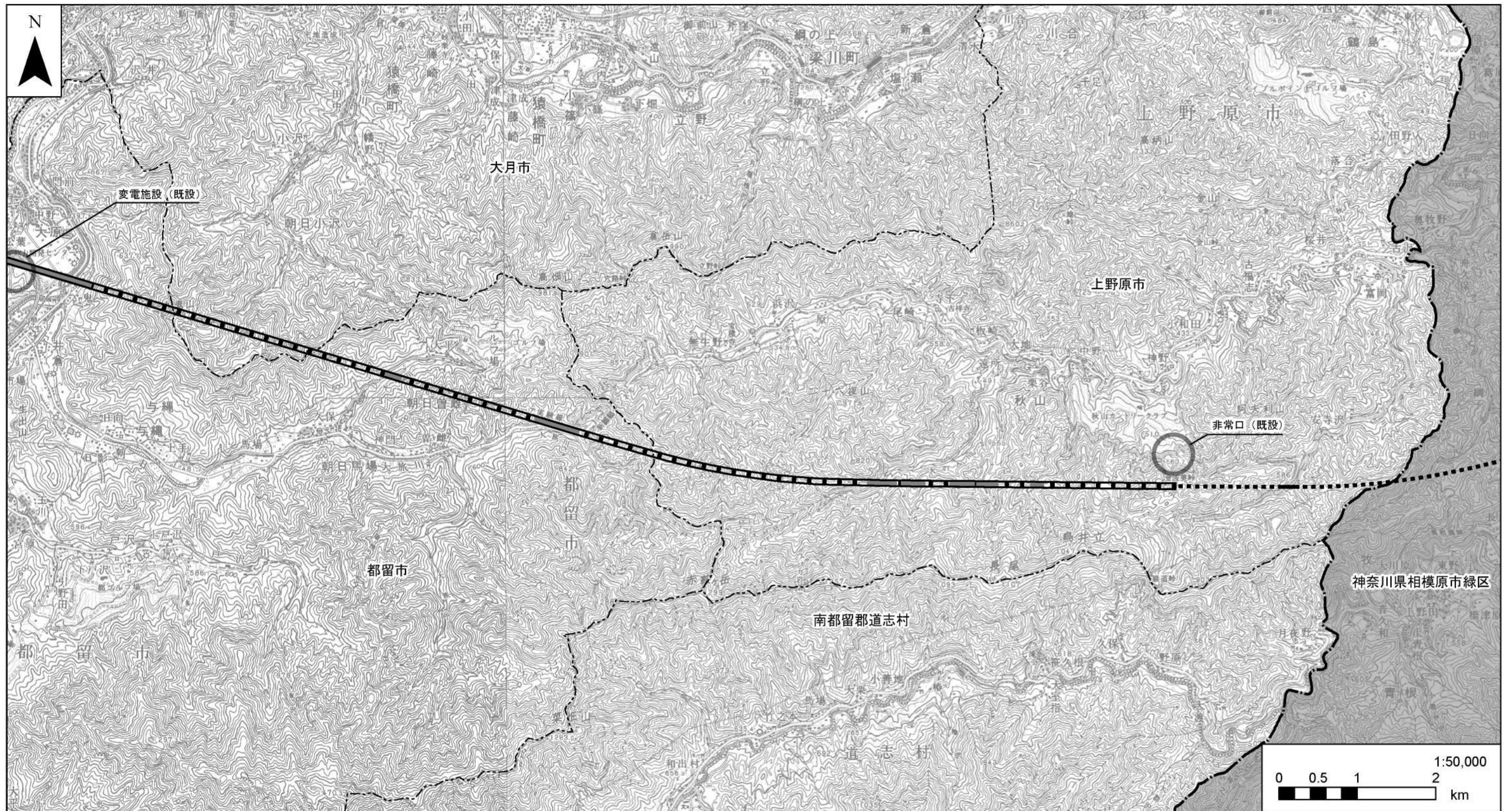
山梨県内では、39 箇所の鳥獣保護区が指定されており、10 箇所において特別保護地区が指定されている。このうち、対象事業実施区域及びその周囲では、図 4-2-1-18 及び表 4-2-1-64 に示す 9 箇所が指定されている。なお、特別保護地区は「11 三ツ峠」の 1 箇所である。

表 4-2-1-64 対象事業実施区域及びその周囲の鳥獣保護区一覧

No.	名称	設定所在地	設定面積 (ha)	特別保護 地区面積 (ha)	期間終了年月日
11	三ツ峠鳥獣保護区	都留市及び南都留郡富士河口湖町三ツ峠一帯	715	70	平成 28 年 10 月 31 日
12	岩殿山鳥獣保護区	大月市	85	-	平成 26 年 10 月 31 日
17	県民の森鳥獣保護区	南アルプス市櫛形山一帯	995	-	平成 30 年 10 月 31 日
21	唐沢山鳥獣保護区	笛吹市御坂町唐沢山	3.79	-	平成 30 年 10 月 31 日
27	三郡橋鳥獣保護区	南アルプス市 南巨摩郡富士川町 西八代郡市川三郷町	237	-	平成 30 年 10 月 31 日
33	黒桂河内鳥獣保護区	南巨摩郡早川町	60	-	平成 25 年 10 月 31 日
34	都留いきものふれあいの里鳥獣保護区	都留市	60	-	平成 27 年 10 月 31 日
35	黒岳鳥獣保護区	笛吹市御坂町	11.7	-	平成 34 年 10 月 31 日
39	滝子山鳥獣保護区	大月市	17.8	-	平成 28 年 10 月 31 日

注1. 「No.」は、位置図に掲載されている番号をそのまま記載している。

資料：「平成 24 年度鳥獣保護区等位置図山梨県」（平成 24 年、山梨県森林環境部みどり自然課）



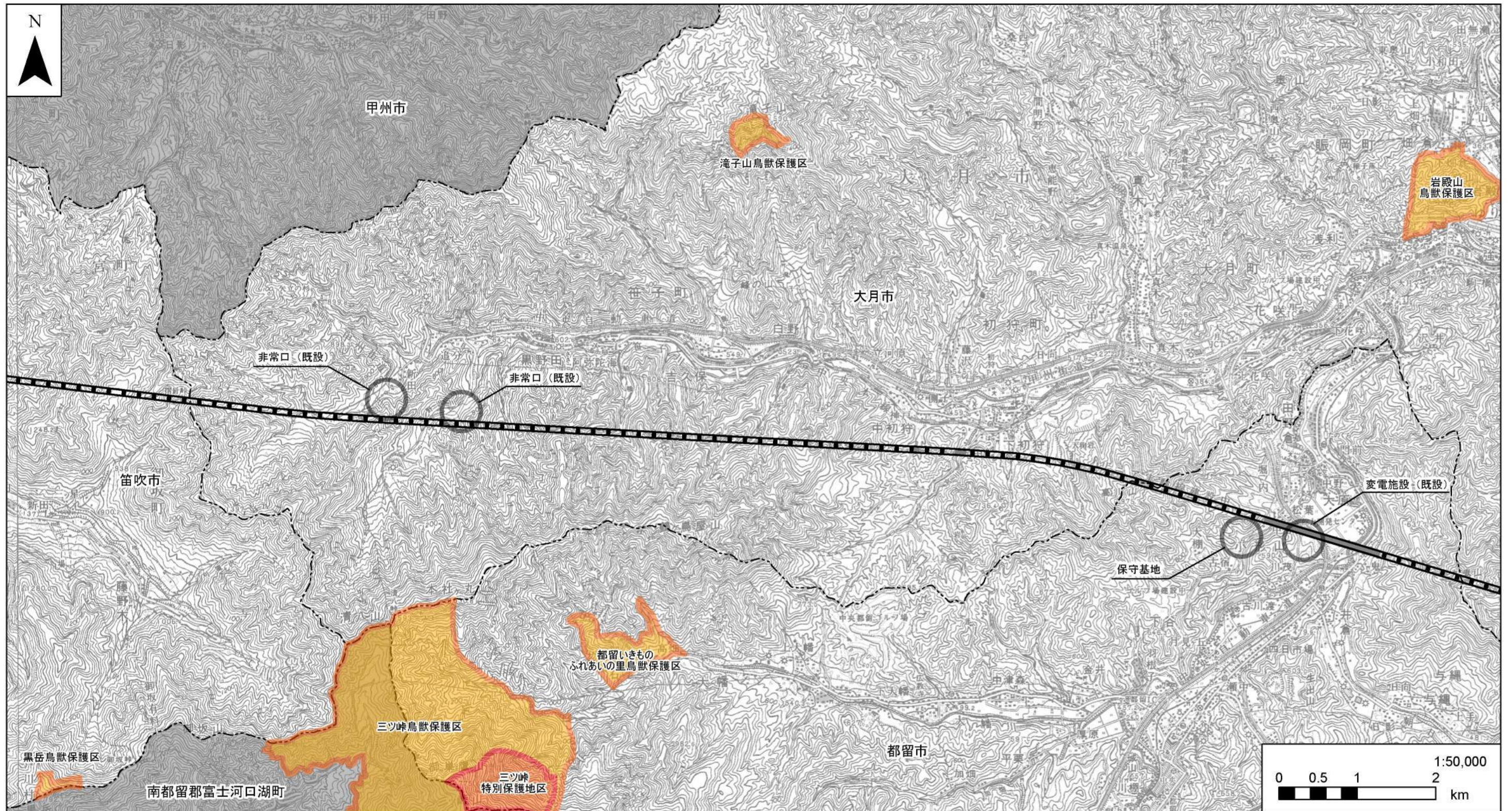
凡例

- | | | |
|---------------------|----------|---------------|
| — 計画路線(新設区間(地上部)) | --- 都県境 | ■ 鳥獣保護区 |
| ▬ 計画路線(既設区間(地上部)) | --- 市町村境 | ■ 鳥獣保護区特別保護地区 |
| ⋯ 計画路線(新設区間(トンネル部)) | | |
| ▭ 計画路線(既設区間(トンネル部)) | | |
| ●●● 工事用道路 | | |

注1. 他の図面と表示範囲が重なる箇所については、調査地点等を重複して記載しているものもある。
 注2. 本図には、鳥獣保護区の指定はない。

資料：「平成24年度 鳥獣保護区等位置図山梨県」（平成24年、山梨県森林環境部みどり自然課）

図 4-2-1-18(1) 鳥獣保護区の指定状況図



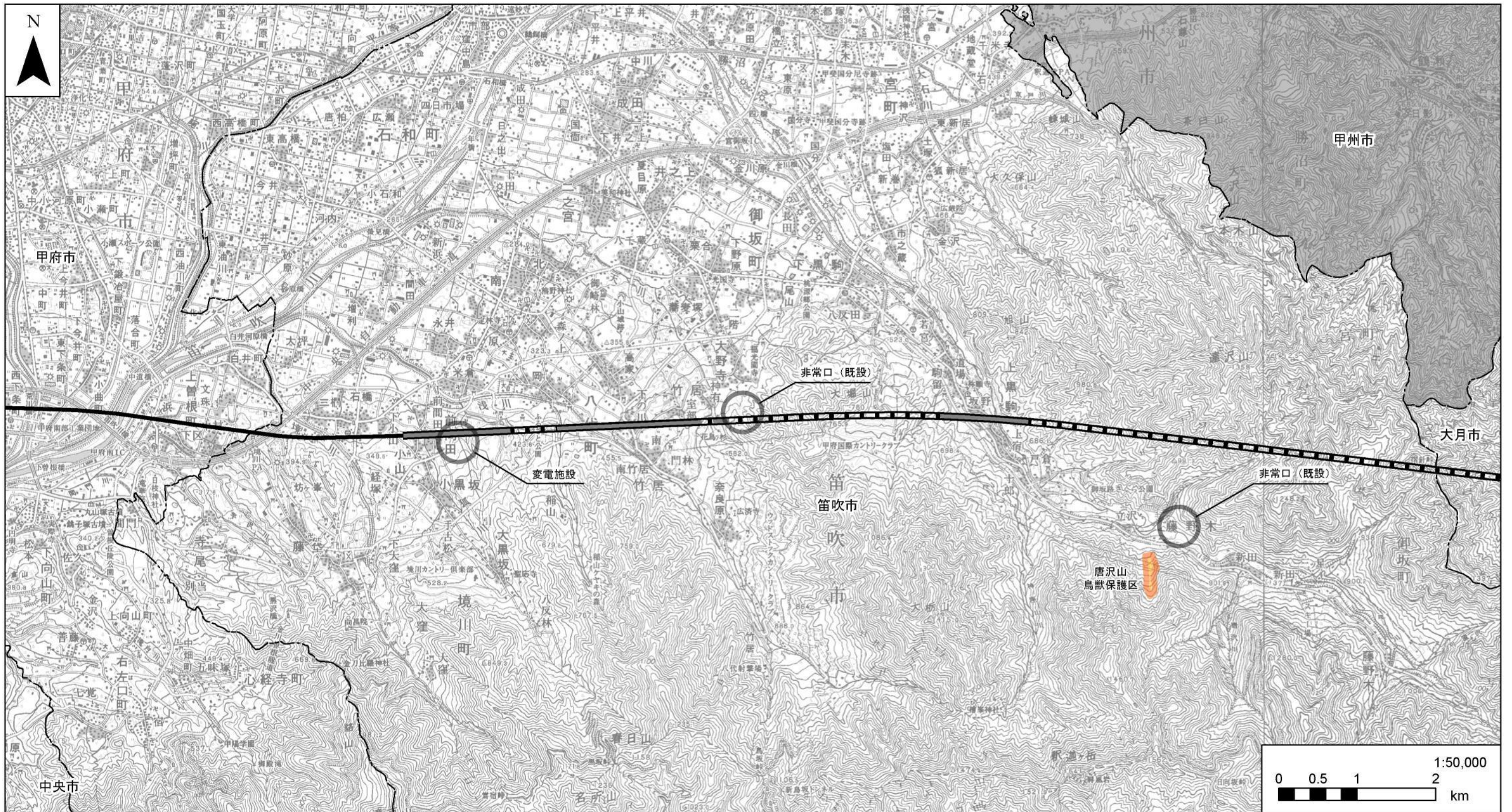
凡例

- | | | |
|---------------------|----------|---------------|
| — 計画路線(新設区間(地上部)) | --- 都県境 | ■ 鳥獣保護区 |
| — 計画路線(既設区間(地上部)) | --- 市町村境 | ■ 鳥獣保護区特別保護地区 |
| ⋯ 計画路線(新設区間(トンネル部)) | | |
| ▣ 計画路線(既設区間(トンネル部)) | | |
| ●●● 工事用道路 | | |

注1. 他の図面と表示範囲が重なる箇所については、調査地点等を重複して記載しているものもある。

資料：「平成24年度 鳥獣保護区等位置図山梨県」（平成24年、山梨県森林環境部みどり自然課）

図 4-2-1-18(2) 鳥獣保護区の指定状況図



凡例

- | | | |
|---------------------|--------|---------------|
| — 計画路線(新設区間(地上部)) | — 都県境 | ■ 鳥獣保護区 |
| — 計画路線(既設区間(地上部)) | — 市町村境 | ■ 鳥獣保護区特別保護地区 |
| ⋯ 計画路線(新設区間(トンネル部)) | | |
| ▭ 計画路線(既設区間(トンネル部)) | | |
| ●●● 工事用道路 | | |

注1. 他の図面と表示範囲が重なる箇所については、調査地点等を重複して記載しているものもある。

資料：「平成24年度 鳥獣保護区等位置図山梨県」(平成24年、山梨県森林環境部みどり自然課)

図 4-2-1-18(3) 鳥獣保護区の指定状況図

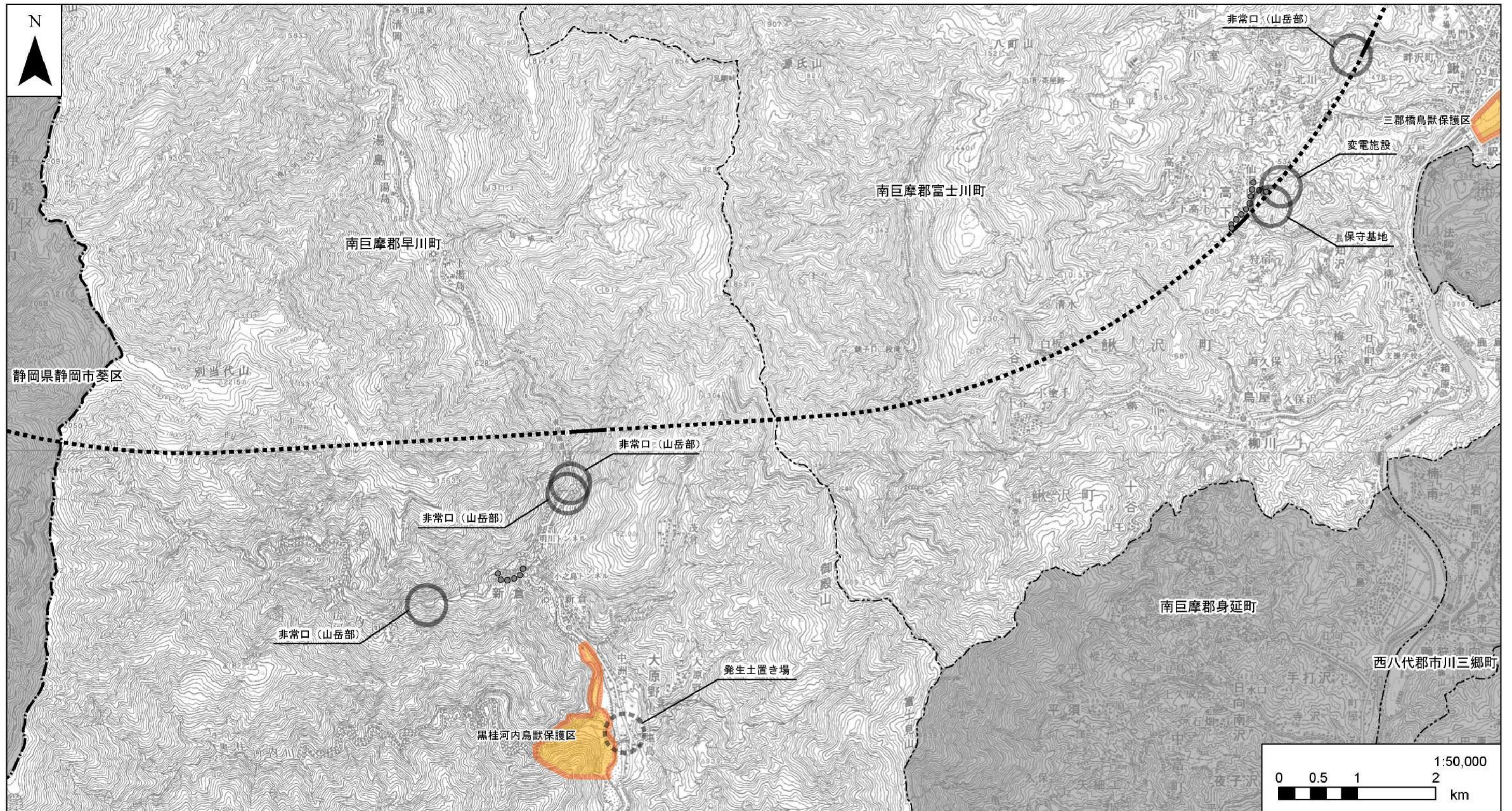


- 凡例
- 計画路線(新設区間(地上部))
 - 計画路線(既設区間(地上部))
 - ⋯⋯ 計画路線(新設区間(トンネル部))
 - ▭ 計画路線(既設区間(トンネル部))
 - 工事用道路
 - 都県境
 - 市町村境
 - 鳥獣保護区
 - 鳥獣保護区特別保護地区

注1. 他の図面と表示範囲が重なる箇所については、調査地点等を重複して記載しているものもある。

資料：「平成24年度 鳥獣保護区等位置図山梨県」(平成24年、山梨県森林環境部みどり自然課)

図 4-2-1-18(4) 鳥獣保護区の指定状況図



凡例

- | | | |
|---------------------|----------|---------------|
| — 計画路線(新設区間(地上部)) | --- 都県境 | ■ 鳥獣保護区 |
| — 計画路線(既設区間(地上部)) | --- 市町村境 | ■ 鳥獣保護区特別保護地区 |
| ⋯ 計画路線(新設区間(トンネル部)) | | |
| ▭ 計画路線(既設区間(トンネル部)) | | |
| ●●● 工事用道路 | | |

注1. 他の図面と表示範囲が重なる箇所については、調査地点等を重複して記載しているものもある。

資料：「平成24年度 鳥獣保護区等位置図山梨県」(平成24年、山梨県森林環境部みどり自然課)

図 4-2-1-18(5) 鳥獣保護区の指定状況図

り) 重要な動物及び天然記念物としての動物の生息状況、生息環境

対象事業実施区域及びその周囲の哺乳類、鳥類、両生類・爬虫類、昆虫類及び魚類の生息状況は、以下のとおりである。

(哺乳類)

「自然環境保全基礎調査 第6回動植物分布調査(種の多様性調査)」(平成16年、環境省)では、分布調査対象種とされた9種の中大型哺乳類(ニホンザル、タヌキ、アナグマ、ツキノワグマ・ヒグマ、キツネ、イノシシ、ニホンジカ、カモシカ)について、聞き取り・アンケート調査及び既存資料調査によって得られた生息情報をメッシュごとに整理している。

対象事業実施区域を含むメッシュ⁽⁶⁾で生息情報が確認された哺乳類を図4-2-1-19及び表4-2-1-65に示す。このうち、カモシカが文化財保護法に基づく特別天然記念物に指定されているほか、ツキノワグマが「2005山梨県レッドデータブック」(以下「県レッド」という。)で要注目種に指定されている。

また、山梨県は国指定天然記念物「西湖蝙蝠穴及びコウモリ」(対象事業実施区域外)に代表されるように、全国でも有数のコウモリ類の生息地が存在するが、開発や林業の変化等による洞窟や樹洞等の減少や、自然林の減少により絶滅が危惧されている。このほか、山梨県内からは、国の天然記念物に指定されているヤマネの生息が確認されている。

表 4-2-1-65 対象事業実施区域を含むメッシュで生息が確認された哺乳類

目名	科名	種名	選定基準			
			①	②	③	④
サル目	オナガザル科	ニホンザル				
ネコ目	クマ科	ツキノワグマ				N
	イヌ科	タヌキ				
		キツネ				
	イタチ科	アナグマ				
ウシ目	イノシシ科	イノシシ				
	シカ科	ニホンジカ				
	ウシ科	カモシカ	特天			
3目	7科	8種	1種	0種	0種	1種

注1. 選定基準は以下のとおりとする。

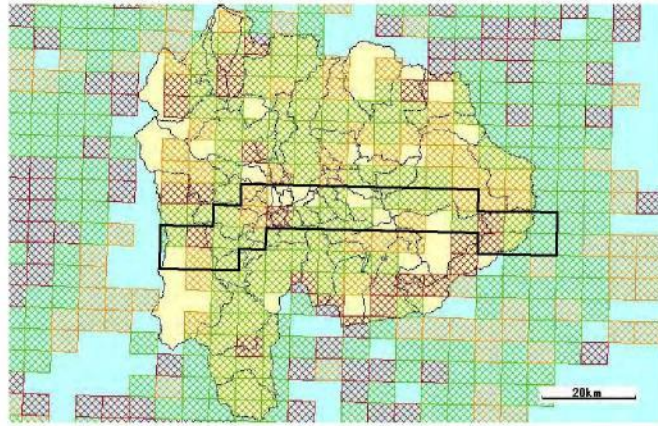
- ① 「文化財保護法」(昭和25年、法律第214号)に定められた種(特天;特別天然記念物、天;天然記念物)
- ② 「絶滅のおそれのある野生動植物の種の保存に関する法律(種の保存法)」(平成4年、法律第75号)に定める国内希少野生動植物種及び国際希少野生動植物種
- ③ 「環境省レッドリスト」(平成24年、環境省発表)に掲載されている種
EX:絶滅種、EW:野生絶滅、CR:絶滅危惧IA類、EN:絶滅危惧IB類、VU:絶滅危惧II類、NT:準絶滅危惧、DD:情報不足
- ④ 「2005山梨県レッドデータブック」(平成17年、山梨県森林環境部緑自然課)に掲載されている種
EX:絶滅種、EW:野生絶滅、CR:絶滅危惧IA類、EN:絶滅危惧IB類、VU:絶滅危惧II類、NT:準絶滅危惧、LP:絶滅のおそれのある地域個体群、DD:情報不足、N:要注目種

注2. 表中の空欄は、該当するものがないことを示す。

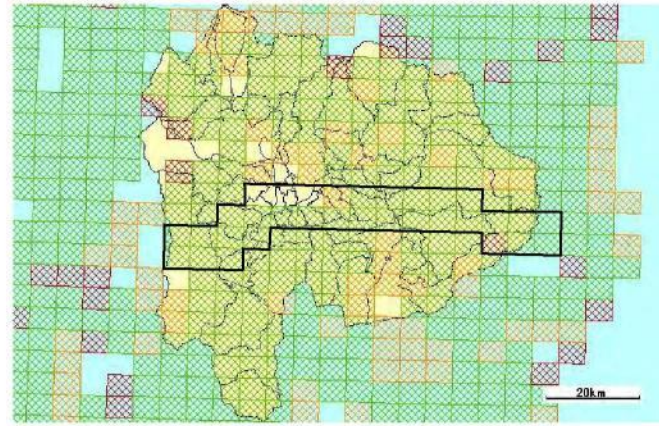
資料:「自然環境保全基礎調査 第6回動植物分布調査(種の多様性調査)」(平成16年、環境省)

⁽⁶⁾ 「対象事業実施区域を含むメッシュ」:対象事業実施区域及びその周囲に位置するメッシュデータとし、地域特性の調査対象範囲は方法書と同様とした。

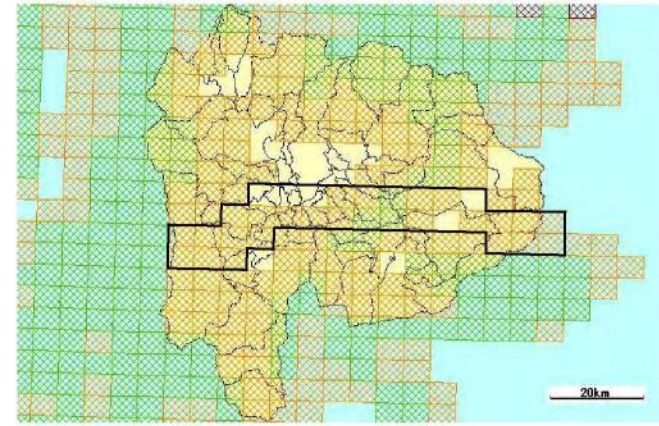
アナグマ



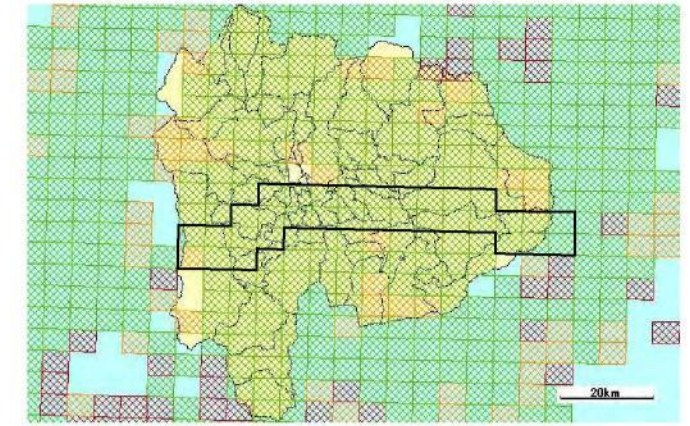
イノシシ



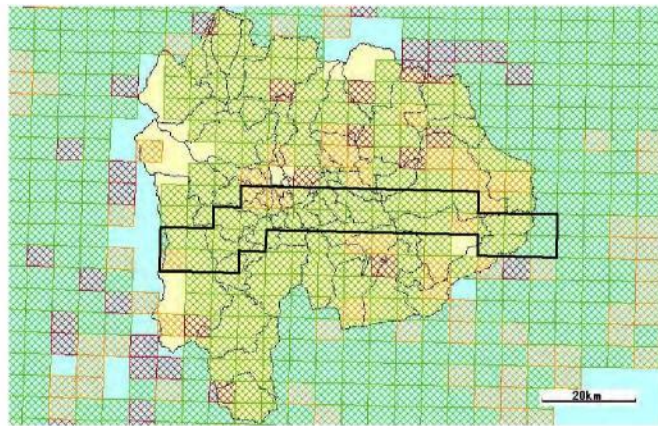
カモシカ



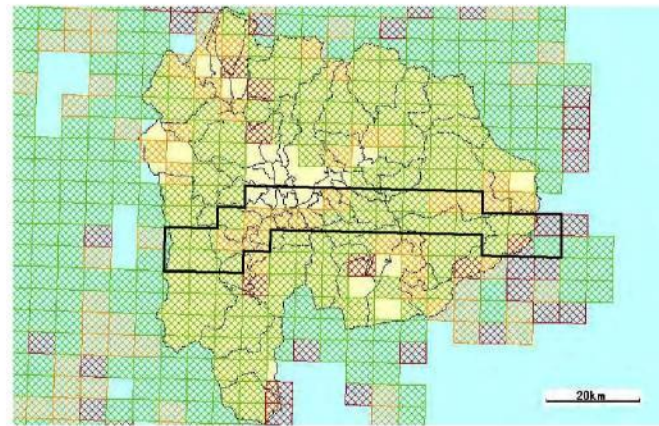
キツネ



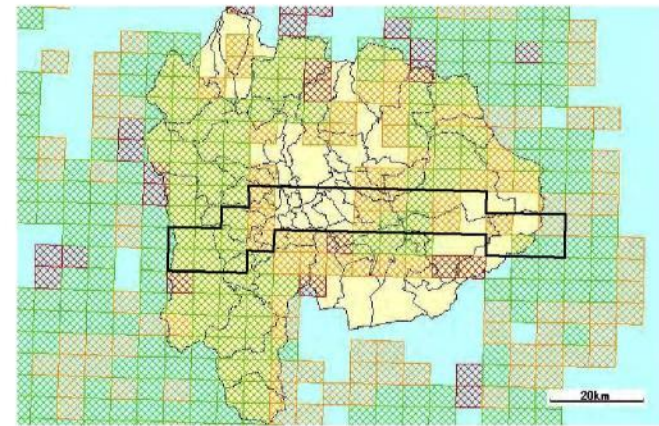
タヌキ



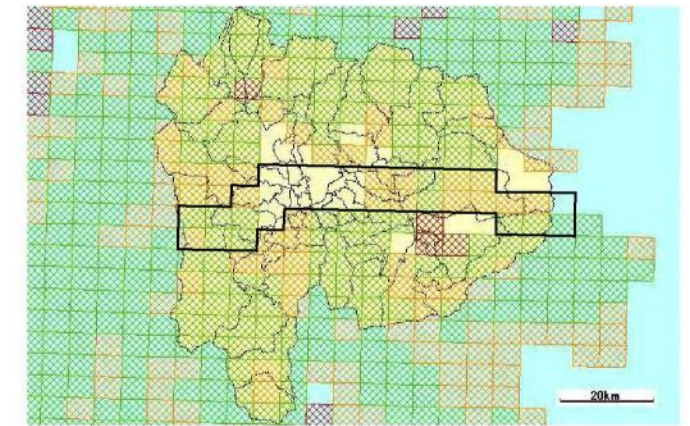
ツキノワグマ・ヒグマ







ニホンザル



ニホンジカ



-  第2回調査のみ確認
-  第6回調査のみ確認
-  第2回と第6回の両方で確認
-  対象事業実施区域を含むメッシュ

資料：「自然環境保全基礎調査 第6回動植物分布調査（種の多様性調査）」（平成16年、環境省）

図 4-2-1-19 主なほ乳類の分布図

(鳥 類)

「日本産鳥類の繁殖分布(第2回自然環境保全基礎調査(緑の国勢調査) 動物分布調査(鳥類)報告書)」(昭和56年、環境庁)は、鳥類の繁殖情報をメッシュごとに整理している。

対象事業実施区域を含むメッシュで繁殖情報が確認された種を表4-2-1-66に示す。このうち、ライチョウは、文化財保護法に基づく特別天然記念物、種の保存法に基づく国内希少野生動物種及び「山梨県希少野生動物物の保護に関する条例」に基づき、特に保護を図る必要があると認められる「指定希少野生動物種」に指定されている。また、環境省レッドリスト記載種(以下「環境省レッド」という。)の絶滅危惧IB類に、「県レッド」の絶滅危惧IA類に選定されている。

また、「環境省レッド」では絶滅危惧IB類はライチョウの1種、絶滅危惧II類はサシバの1種、準絶滅危惧はハイタカ、ヒクイナ及びノジコの3種が選定されている。「県レッド」では、絶滅危惧IA類にライチョウ、絶滅危惧II類にハイタカ、準絶滅危惧にサシバ等4種が選定されている。

表 4-2-1-66(1) 対象事業実施区域を含むメッシュで繁殖情報が確認された鳥類

目名	科名	種名	選定基準			
			①	②	③	④
カモ目	カモ科	カルガモ				
タカ目	タカ科	トビ				
		ハイタカ			NT	VU
		ノスリ				
		サシバ			VU	NT
キジ目	ライチョウ科	ライチョウ	特天	国内	EN	CR
	キジ科	コジュケイ				
		ヤマドリ				
		キジ				
	クイナ科	ヒクイナ			NT	DD
		バン				
チドリ目	チドリ科	コチドリ				
		イカルチドリ				
	シギ科	イソシギ				
ハト目	ハト科	キジバト				
		アオバト				
カッコウ目	カッコウ科	ジュウイチ				
		ツツドリ				
		ホトトギス				
アマツバメ目	アマツバメ科	ハリオアマツバメ				DD
		アマツバメ				
ブッポウソウ目	カワセミ科	カワセミ				
キツツキ目	キツツキ科	アオゲラ				
		アカゲラ				
		コゲラ				
スズメ目	ヒバリ科	ヒバリ				
	ツバメ科	ツバメ				
		イワツバメ				
	セキレイ科	キセキレイ				
		セグロセキレイ				
		ピンズイ				
		カヤクグリ				
	ヒヨドリ科	ヒヨドリ				
	モズ科	モズ				
	カワガラス科	カワガラス				
ミソサザイ科	ミソサザイ					

表 4-2-1-66(2) 対象事業実施区域を含むメッシュで繁殖情報が確認された鳥類

目名	科名	種名	選定基準			
			①	②	③	④
スズメ目	イワヒバリ科	イワヒバリ				
		カヤクグリ				
	ツグミ科	コマドリ				
		コルリ				
		ルリビタキ				
		マミジロ				
		トラツグミ				NT
		クロツグミ				
		アカハラ				
		ウグイス科	ヤブサメ			
	ウグイス					
	コヨシキリ					
	オオヨシキリ					
	メボソムシクイ					
	エゾムシクイ					
	センダイムシクイ					
	キクイタダキ					
	セッカ					
	ヒタキ科	キビタキ				
		オオルリ				
		コサメギタキ				
	カササギヒタキ科	サンコウチョウ				NT
	エナガ科	エナガ				
	シジュウカラ科	コガラ				
		ヒガラ				
		ヤマガラ				
		シジュウカラ				
	ゴジュウカラ科	ゴジュウカラ				
	キバシリ科	キバシリ				DD
	メジロ科	メジロ				
	ホオジロ科	ホオジロ				
		ノジコ			NT	NT
アトリ科	カワラヒワ					
	ウソ					
	イカル					
ハタオリドリ科	スズメ					
ムクドリ科	ムクドリ					
カラス科	カケス					
	オナガ					
	ホシガラス					
	ハシボソガラス					
	ハシブトガラス					
10 目	34 科	78 種	1 種	1 種	5 種	9 種

注1. 選定基準は以下のとおりとする。

- ① 「文化財保護法」(昭和25年、法律第214号)に定められた種(特天;特別天然記念物、天;天然記念物)
- ② 「絶滅のおそれのある野生動植物の種の保存に関する法律(種の保存法)」(平成4年、法律第75号)に定める国内希少野生動植物種及び国際希少野生動植物種
- ③ 「環境省レッドリスト」(平成24年、環境省発表)に掲載されている種
EX:絶滅種、EW:野生絶滅、CR:絶滅危惧IA類、EN:絶滅危惧IB類、VU:絶滅危惧II類、NT:準絶滅危惧、DD:情報不足
- ④ 「2005山梨県レッドデータブック」(平成17年、山梨県森林環境部緑自然課)に掲載されている種
EX:絶滅種、EW:野生絶滅、CR:絶滅危惧IA類、EN:絶滅危惧IB類、VU:絶滅危惧II類、NT:準絶滅危惧、LP:絶滅のおそれのある地域個体群、DD:情報不足、N:要注目種

注2. ドバト及びベニスズメは外来種であり、種数等に計上していない。

注3. 表中の空欄は、該当するものがないことを示す。

資料: 「日本産鳥類の繁殖分布(第2回自然環境保全基礎調査(緑の国勢調査)

動物分布調査(鳥類)報告書」(昭和56年、環境庁)p.30~429

(両生類・爬虫類)

「第2回自然環境保全基礎調査 山梨県動植物分布図」(昭和56年、環境庁)によると、図4-2-1-20及び表4-2-1-67に示すとおり、対象事業実施区域及びその周囲では、重要な両生類及び爬虫類として、ヒダサンショウウオ、ハコネサンショウウオの2種が確認されている。ヒダサンショウウオは、「環境省レッド」では準絶滅危惧に、「県レッド」では要注目種に選定されている。

また、「県レッド」によると、山梨県に生息する両生類は2目6科14種、爬虫類は2目7科15種である。このうち、両生類からは絶滅危惧II類にイモリが、準絶滅危惧にトノサマガエルが選定されている。爬虫類からは、絶滅危惧II類にニホンイシガメとシマヘビが選定されている。

絶滅危惧II類に選定されたイモリは、平地の水田では確認されず、川沿いや周辺部の小規模な水田、山地の限られた溜め池に分布し、急激に個体数、生息地とも減少している。

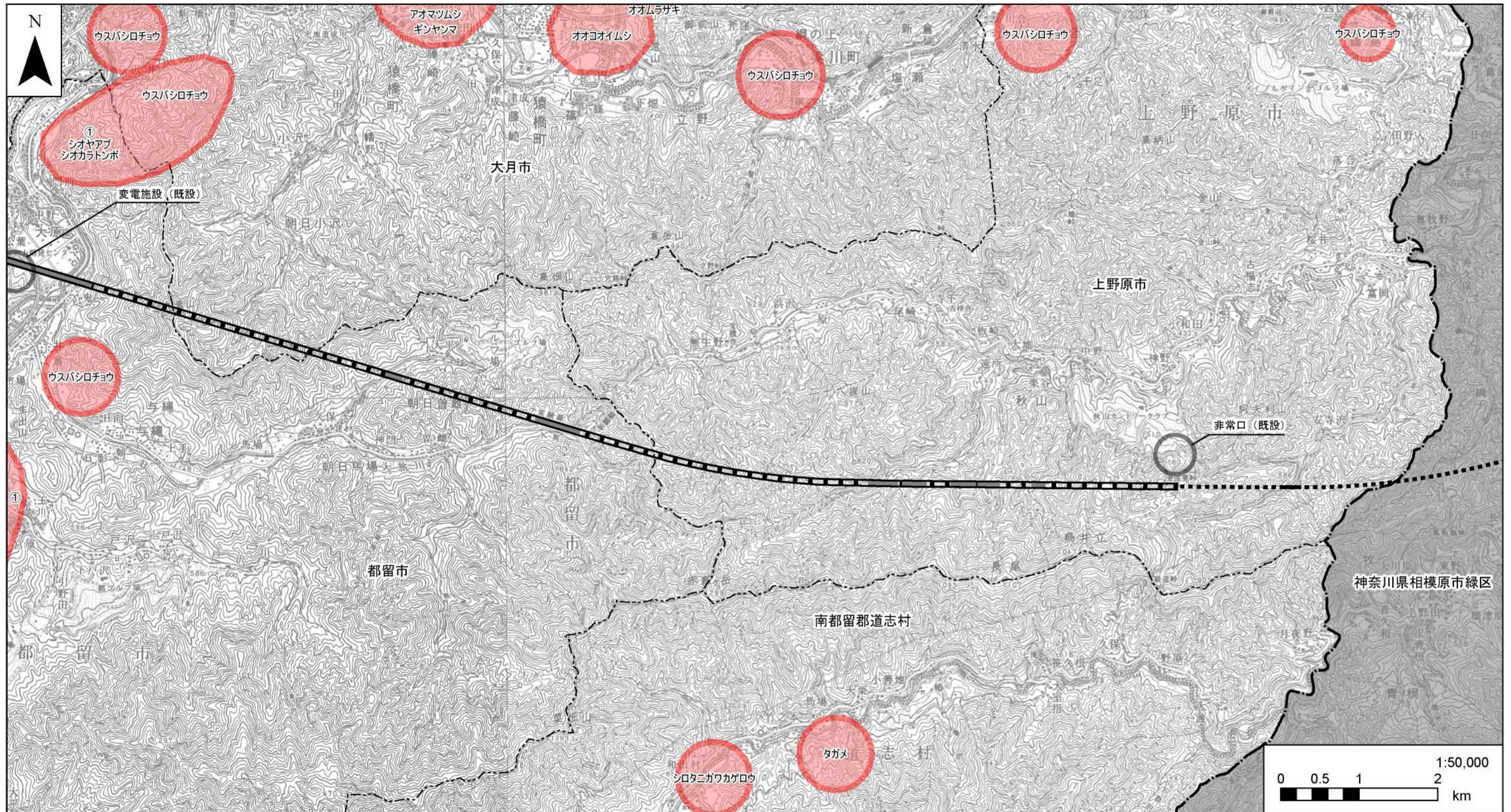
また、ニホンイシガメとシマヘビは宅地開発や河川改修等による生息場所や産卵場所への影響から個体数が減少したと考えられている。

表 4-2-1-67 対象事業実施区域及びその周囲で生息が確認された両生類・爬虫類

目名	科名	種名	選定基準			
			①	②	③	④
サンショウウオ目	サンショウウオ科	ヒダサンショウウオ			NT	N
		ハコネサンショウウオ				
1目	1科	2種	0種	0種	1種	1種

注1. 選定基準は以下のとおりとする。

- ①「文化財保護法」(昭和25年、法律第214号)に定められた種(特天;特別天然記念物、天;天然記念物)
 - ②「絶滅のおそれのある野生動植物の種の保存に関する法律(種の保存法)」(平成4年、法律第75号)に定める国内希少野生動植物種及び国際希少野生動植物種
 - ③「環境省レッドリスト」(平成24年、環境省発表)に掲載されている種
EX:絶滅種、EW:野生絶滅、CR:絶滅危惧IA類、EN:絶滅危惧IB類、VU:絶滅危惧II類、NT:準絶滅危惧、DD:情報不足
 - ④「2005山梨県レッドデータブック」(平成17年、山梨県森林環境部緑自然課)に掲載されている種
EX:絶滅種、EW:野生絶滅、CR:絶滅危惧IA類、EN:絶滅危惧IB類、VU:絶滅危惧II類、NT:準絶滅危惧、LP:絶滅のおそれのある地域個体群、DD:情報不足、N:要注目種
- 資料:「第2回自然環境保全基礎調査 山梨県動植物分布図」(昭和56年、環境庁)



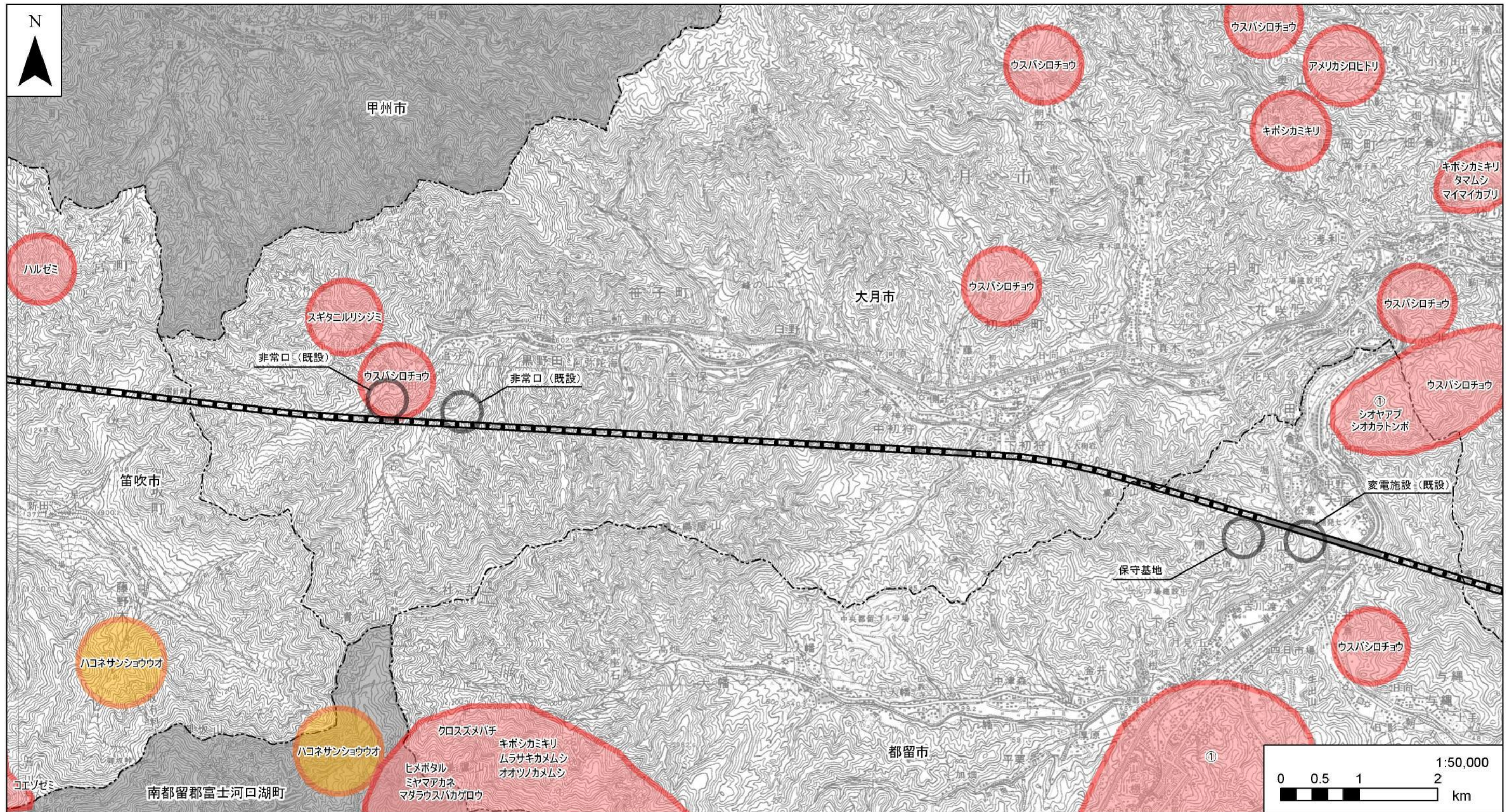
凡例

- | | | |
|------------------------|----------|-----------|
| — 計画路線(新設区間(地上部)) | --- 都県境 | ■ 両生類・爬虫類 |
| — 計画路線(既設区間(地上部)) | --- 市町村境 | ■ 昆虫類 |
| 計画路線(新設区間(トンネル部)) | | |
| ▬ 計画路線(既設区間(トンネル部)) | | |
| ●●● 工事用道路 | | |

注1. 他の図面と表示範囲が重なる箇所については、調査地点等を重複して記載しているものもある。
 注2. ①: 「第2回自然環境保全基礎調査 山梨県動植物分布図」に記載されているが、都合により削除されて欠番となっているものを示す。
 ②: 「第2回自然環境保全基礎調査 山梨県動植物分布図」に記載されているが、「日本の重要な昆虫類 甲信越版」に記録がないものを示す。
 注3. 資料においては、魚類の分布は報告されていない。

資料: 「第2回自然環境保全基礎調査 山梨県動植物分布図」(昭和56年、環境庁)
 「日本の重要な昆虫類 甲信越版」(昭和55年、環境庁)

図 4-2-1-20(1) 第 2 回自然環境保全基礎調査による動物の分布図



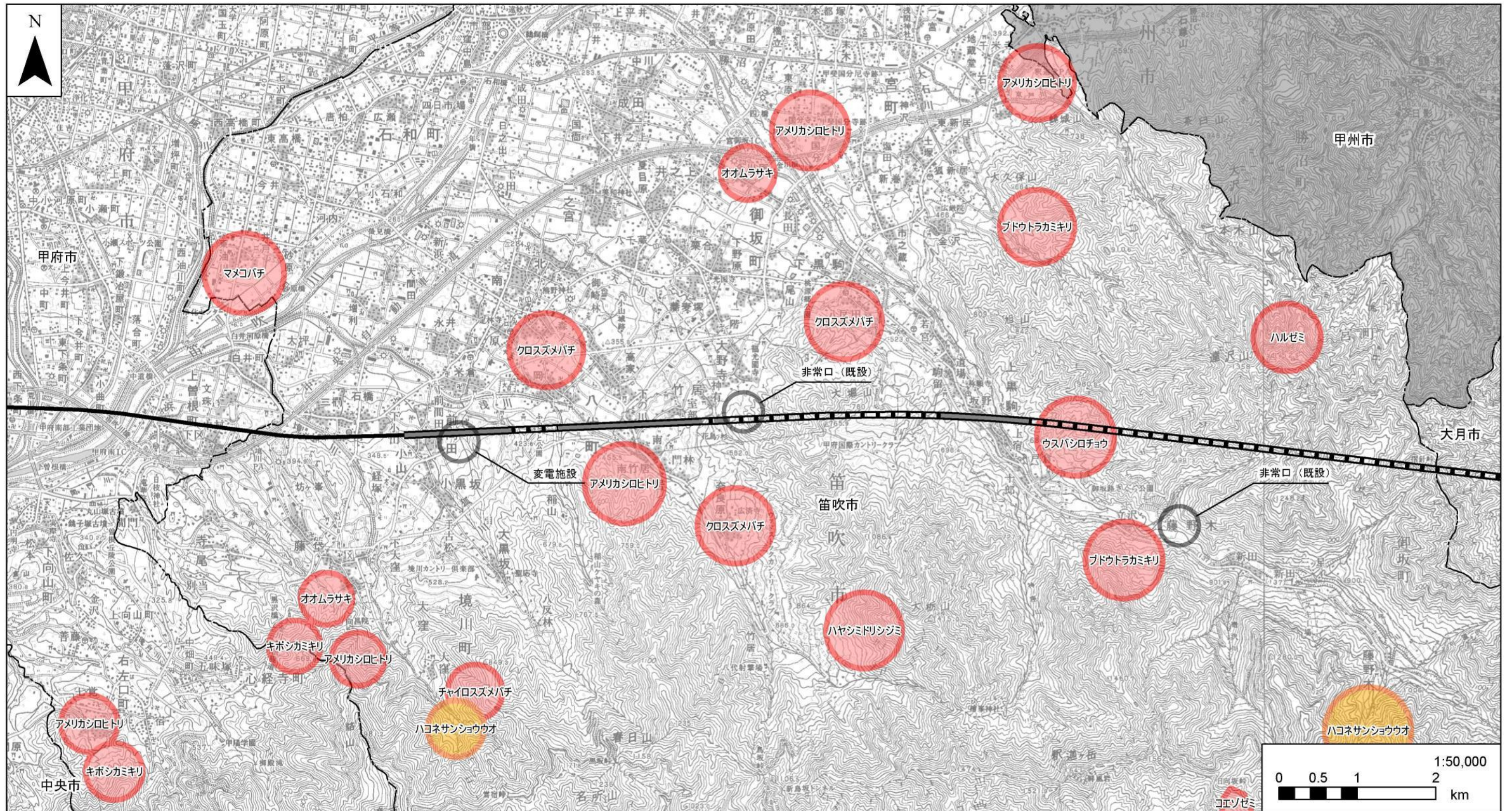
凡例

- | | | |
|---------------------|----------|-----------|
| — 計画路線(新設区間(地上部)) | --- 都県境 | ■ 両生類・爬虫類 |
| — 計画路線(既設区間(地上部)) | --- 市町村境 | ■ 昆虫類 |
| ⋯ 計画路線(新設区間(トンネル部)) | | |
| ▬ 計画路線(既設区間(トンネル部)) | | |
| ●●● 工事用道路 | | |

注1. 他の図面と表示範囲が重なる箇所については、調査地点等を重複して記載しているものもある。
 注2. ①: 「第2回自然環境保全基礎調査 山梨県動植物分布図」に記載されているが、都合により削除されて欠番となっているものを示す。
 ②: 「第2回自然環境保全基礎調査 山梨県動植物分布図」に記載されているが、「日本の重要な昆虫類 甲信越版」に記録がないものを示す。
 注3. 資料においては、魚類の分布は報告されていない。

資料: 「第2回自然環境保全基礎調査 山梨県動植物分布図」(昭和56年、環境庁)
 「日本の重要な昆虫類 甲信越版」(昭和55年、環境庁)

図4-2-1-20(2) 第2回自然環境保全基礎調査による動物の分布図



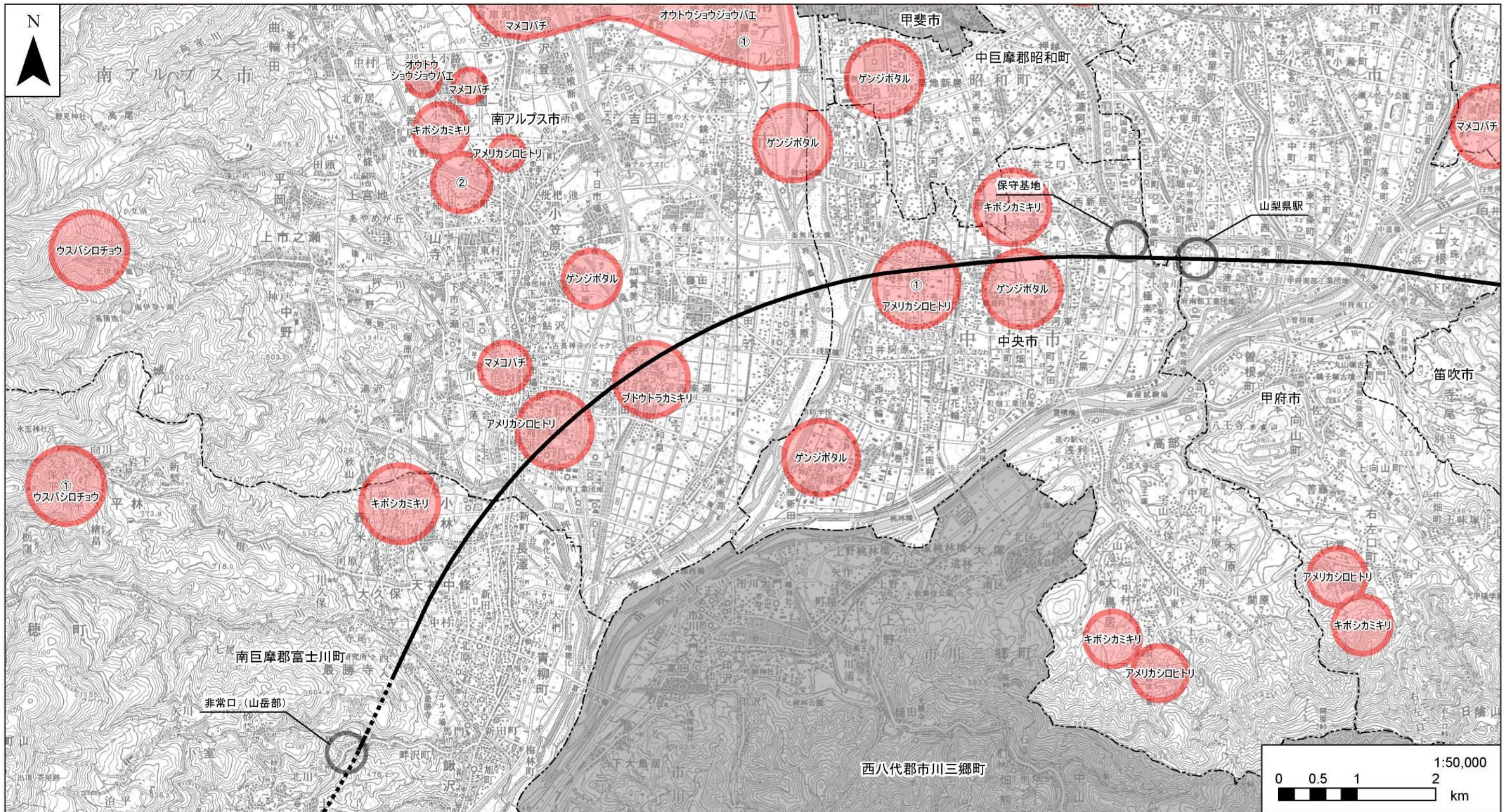
凡例

- | | | |
|---------------------|----------|-----------|
| — 計画路線(新設区間(地上部)) | — 都県境 | ● 両生類・爬虫類 |
| — 計画路線(既設区間(地上部)) | --- 市町村境 | ● 昆虫類 |
| ⋯ 計画路線(新設区間(トンネル部)) | | |
| ▬ 計画路線(既設区間(トンネル部)) | | |
| ●●● 工事用道路 | | |

注1. 他の図面と表示範囲が重なる箇所については、調査地点等を重複して記載しているものもある。
 注2. ①: 「第2回自然環境保全基礎調査 山梨県動植物分布図」に記載されているが、都合により削除されて欠番となっているものを示す。
 ②: 「第2回自然環境保全基礎調査 山梨県動植物分布図」に記載されているが、「日本の重要な昆虫類 甲信越版」に記録がないものを示す。
 注3. 資料においては、魚類の分布は報告されていない。

資料: 「第2回自然環境保全基礎調査 山梨県動植物分布図」(昭和56年、環境庁)
 「日本の重要な昆虫類 甲信越版」(昭和55年、環境庁)

図4-2-1-20(3) 第2回自然環境保全基礎調査による動物の分布図



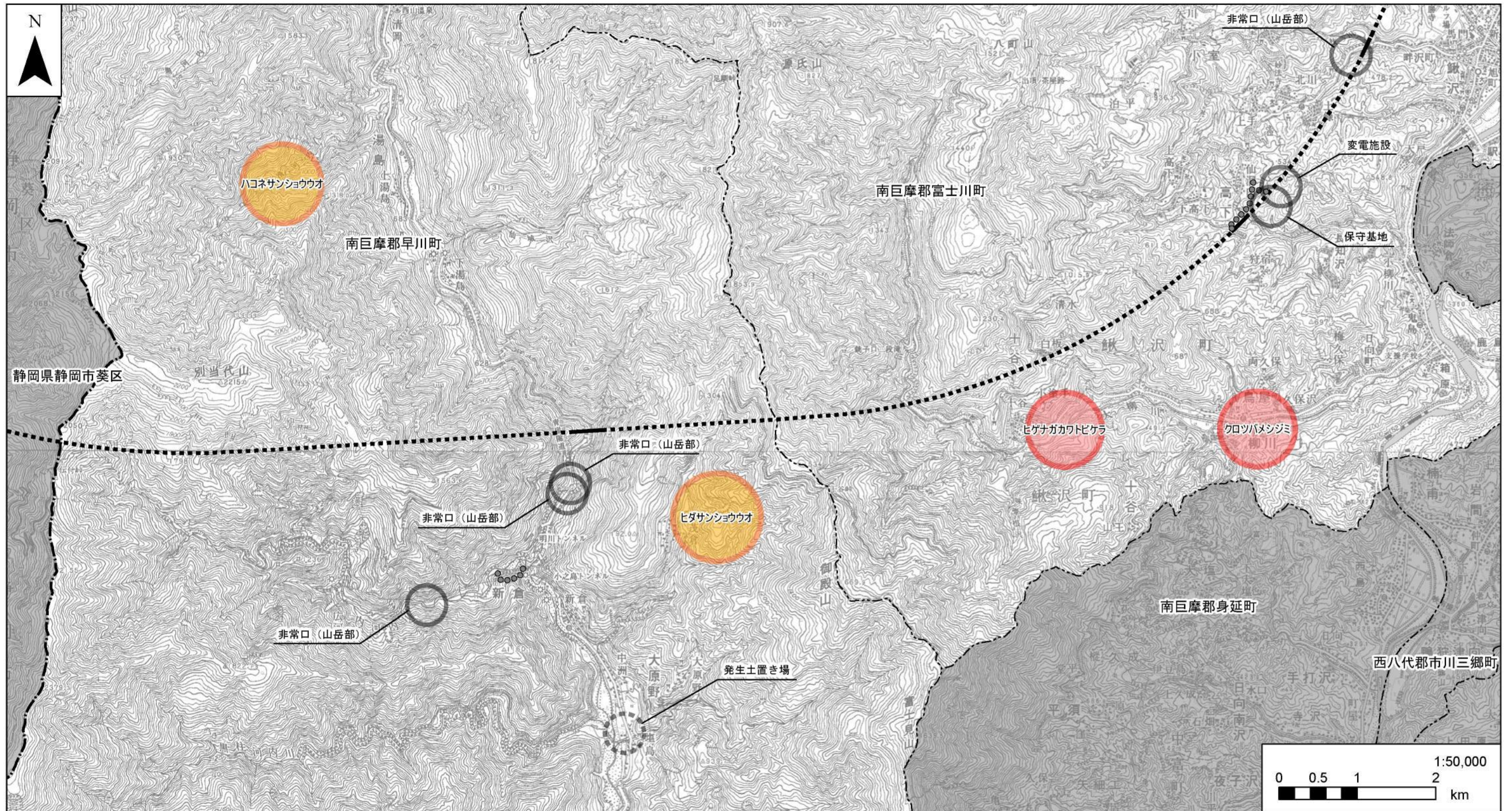
凡例

- 計画路線(新設区間(地上部))
- 計画路線(既設区間(地上部))
- 計画路線(新設区間(トンネル部))
- 計画路線(既設区間(トンネル部))
- 工事用道路
- 都県境
- 市町村境
- 両生類・爬虫類
- 昆虫類

注1. 他の図面と表示範囲が重なる箇所については、調査地点等を重複して記載しているものもある。
 注2. ①: 「第2回自然環境保全基礎調査 山梨県動植物分布図」に記載されているが、都合により削除されて欠番となっているものを示す。
 ②: 「第2回自然環境保全基礎調査 山梨県動植物分布図」に記載されているが、「日本の重要な昆虫類 甲信越版」に記録がないものを示す。
 注3. 資料においては、魚類の分布は報告されていない。

資料: 「第2回自然環境保全基礎調査 山梨県動植物分布図」(昭和56年、環境庁)
 「日本の重要な昆虫類 甲信越版」(昭和55年、環境庁)

図4-2-1-20(4) 第2回自然環境保全基礎調査による動物の分布図



凡例

- | | | |
|-----------------------|----------|-----------|
| — 計画路線(新設区間(地上部)) | --- 都県境 | ■ 両生類・爬虫類 |
| — 計画路線(既設区間(地上部)) | --- 市町村境 | ■ 昆虫類 |
| --- 計画路線(新設区間(トンネル部)) | | |
| --- 計画路線(既設区間(トンネル部)) | | |
| ●●● 工事用道路 | | |

注1. 他の図面と表示範囲が重なる箇所については、調査地点等を重複して記載しているものもある。
 注2. ①: 「第2回自然環境保全基礎調査 山梨県動植物分布図」に記載されているが、都合により削除されて欠番となっているものを示す。
 ②: 「第2回自然環境保全基礎調査 山梨県動植物分布図」に記載されているが、「日本の重要な昆虫類 甲信越版」に記録がないものを示す。
 注3. 資料においては、魚類の分布は報告されていない。

資料: 「第2回自然環境保全基礎調査 山梨県動植物分布図」(昭和56年、環境庁)
 「日本の重要な昆虫類 甲信越版」(昭和55年、環境庁)

図4-2-1-20(5) 第2回自然環境保全基礎調査による動物の分布図

(昆虫類)

「日本の重要な昆虫類 甲信越版」(昭和55年、環境庁)によると、山梨県内では10種の指標昆虫類と67種の特定昆虫類が選定されている。また、「第2回自然環境保全基礎調査 山梨県動植物分布図」(昭和56年、環境庁)によると、図4-2-1-20及び表4-2-1-68に示すとおり、対象事業実施区域及びその周囲からは4種の指標昆虫類と28種の特定昆虫類が確認されており、ミヤマシロチョウとキマダラルリツバメが県の天然記念物に指定されている。

「環境省レッド」では、絶滅危惧II類は上記のミヤマシロチョウとタガメの2種、準絶滅危惧は上記のキマダラルリツバメ、オオムラサキなど3種が選定されている。また「県レッド」では、絶滅危惧IA類としてタガメ1種のほか、準絶滅危惧が1種、情報不足が1種、要注目種が1種選定されている。

(魚 類)

「第2回自然環境保全基礎調査 山梨県動植物分布図」(昭和56年、環境庁)においては、対象事業実施区域及びその周囲から重要な魚類は報告されていない。

なお、「県レッド」によると、山梨県に生息する魚類は8目18科59種である。この内訳は、ウナギ目1種、コイ目24種、ナマズ目4種、サケ目14種、カダヤシ目2種、ダツ目1種、カサゴ目2種、スズキ目11種である。山梨県から生息が確認された59種の魚類のうち、絶滅種はアユカケ1種であり、絶滅が危惧される種は2種1亜種、絶滅の恐れのある地域個体群は2種4亜種である。

表 4-2-1-68 対象事業実施区域及びその周囲で生息が確認された昆虫類

目名	科名	種名	選定基準					
			①	②	③	④	⑤	
カゲロウ目	ヒラタカゲロウ科	シロタニガワカゲロウ			B			
トンボ目	ヤンマ科	ギンヤンマ			C			
	トンボ科	シオカラトンボ			C			
		ミヤマアカネ			C			
バッタ目	マツムシ科 (コオロギ科)	アオマツムシ			C			
カメムシ目	セミ科	ハルゼミ			指			
		コエゾゼミ			B			
	コオイムシ科	オオコオイムシ			B			
		タガメ			指	VU	CR	
	カメムシ科	ムラサキカメムシ			C			
ツノカメムシ科	オオツノカメムシ			D				
アミメカゲロウ目	ウスバカゲロウ科	マダラウスバカゲロウ			C			
コウチュウ目	オサムシ科	マイマイカブリ			C			
	タマムシ科	タマムシ			C			
	ホタル科	ヒメボタル			B			
		ゲンジボタル			指			
	カミキリムシ科	キボシカミキリ			B			
		ブドウトラカミキリ			B			
ハチ目	スズメバチ科	チャイロスズメバチ			B			
		クロスズメバチ			F			
	ハキリバチ科	マメコバチ			C			
ハエ目	ムシヒキアブ科	シオヤアブ			B			
	ショウジョウバエ科	オウトウショウジョウバエ			B			
トビケラ目	ヒゲナガカワトビケラ科	ヒゲナガカワトビケラ			B			
チョウ目	アゲハチョウ科	ウスバシロチョウ			B			
	シロチョウ科	ミヤマシロチョウ	天 (県指定)		B・F	VU	NT	
	シジミチョウ科	スギタニルリシジミ				D・F		
		ハヤシミドリシジミ				D・F		
		キマダラルリツバメ	天 (県指定)			C・F	NT	DD
		クロツバメシジミ				D・F	NT*	
	タテハチョウ科	オオムラサキ			指	NT	N	
	ヒトリガ科	アメリカシロヒトリ			B			
10 目	23 科	32 種	2 種	0 種	32 種	5 種	4 種	

注1. 選定基準は以下のとおりとする。

- ① 「文化財保護法」 (昭和25年、法律第214号) に定められた種 (特天; 特別天然記念物、天; 天然記念物)
- ② 「絶滅のおそれのある野生動植物の種の保存に関する法律 (種の保存法)」 (平成4年、法律第75号) に定める国内希少野生動植物種
- ③ 「第2回自然環境保全基礎調査 山梨県動植物分布図」 (昭和56年、環境庁) に掲載されている種
 指: 指標昆虫類、B (特定昆虫類のうち選定基準Bのもの): 分布域が国内若干の地域に限定されている種
 C (特定昆虫類のうち選定基準Cのもの): 普通種であっても、北限・南限など分布限界になると思われる産地に分布する種、D (特定昆虫類のうち選定基準Dのもの): 当該地域において絶滅の危機に瀕している種、
 F (特定昆虫類のうち選定基準Fのもの): 業者あるいはマニアなどの乱獲により、当該地域での個体数の著しい減少が心配されている種
- ④ 「環境省レッドリスト」 (平成24年、環境省発表) に掲載されている種
 EX: 絶滅種、EW: 野生絶滅、CR: 絶滅危惧IA類、EN: 絶滅危惧IB類、VU: 絶滅危惧II類、
 NT: 準絶滅危惧、DD: 情報不足
- ⑤ 「2005山梨県レッドデータブック」 (平成17年、山梨県森林環境部緑自然課) に掲載されている種
 EX: 絶滅種、EW: 野生絶滅、CR: 絶滅危惧IA類、EN: 絶滅危惧IB類、VU: 絶滅危惧II類、
 NT: 準絶滅危惧、LP: 絶滅のおそれのある地域個体群、DD: 情報不足、N: 要注目種

注2. 表中の空欄は、該当するものがないことを示す。

注3. 表中の*印は、「クロツバメシジミ東日本亜種」についての指定を示す。

資料: 「日本の重要な昆虫類 甲信越版」 (昭和55年、環境庁)

「第2回自然環境保全基礎調査 山梨県動植物分布図」 (昭和56年、環境庁)

2) 植 物

ア. 重要な種及び群落の状況

「第3回自然環境保全基礎調査 植生調査報告書（山梨県）」（昭和62年、環境庁）によると、山梨県は周囲に富士山（標高3,776m）をはじめ、これに次ぐ南アルプス白根の北岳（標高3,192m）や仙丈岳（標高3,033m）等の高海拔の山岳と、これを取り巻く山脈が連なっており、県南部の富士川の最低点80mから、最高点の3,776mまでの差の大きいことは全国でもまれである。そのため、暖帯から温帯、亜寒帯、寒帯まで植生の分布全体が見られる。

また、「2005 山梨県レッドデータブック」（平成17年、山梨県）によると、山梨県から確認された在来の植物は2,116種である。このうちマツバラシ、フジバカマ、サギソウ、トキソウの4種が野生絶滅であり、絶滅が危惧される種は399種である。特にラン科植物は近年乱獲が著しく、県内に自生するラン科植物のおよそ70%にあたる67種がレッドデータブックに掲載され、さらに25%にあたる20種が絶滅危惧IA類にランクされている。

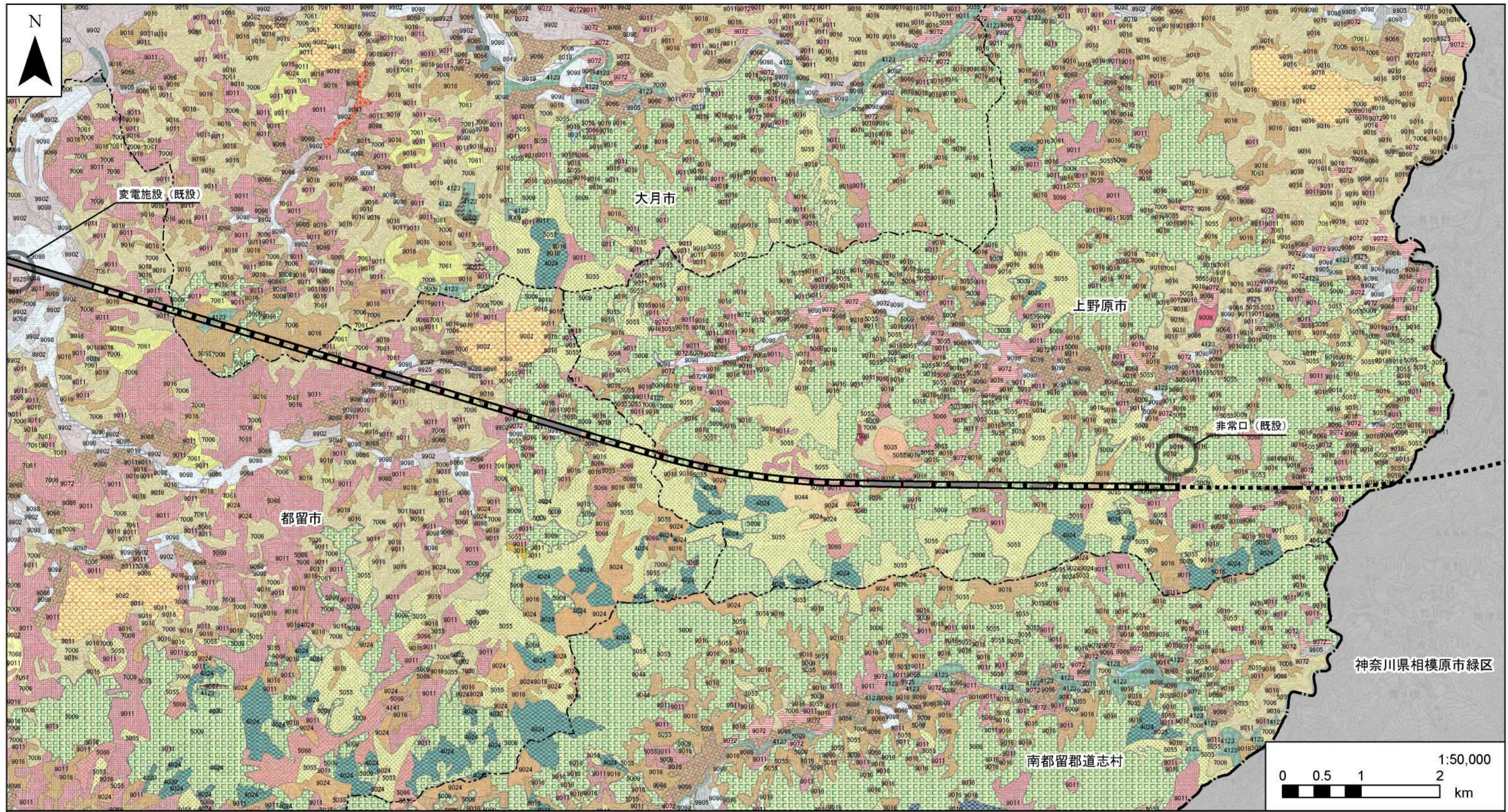
対象事業実施区域及びその周囲の現存植生図を図4-2-1-21に、重要な植物等の分布状況を図4-2-1-22に示す。

対象事業実施区域及びその周囲の植生は、①神奈川県境から富士川水系笛吹川の支流の金川までの地域、②金川から笛吹川までの地域、③笛吹川から富士川町にかけての甲府盆地の底面の平野部、④富士川町から静岡県境にかけての地域の4つの地域に区分することができる。①神奈川県境から金川までの地域は、「クリーミズナラ群落」、「カワラマツバーススキ群落」、「アカマツ植林」及び「スギ・ヒノキ・サワラ植林」を主体とする植生となっている。②金川から笛吹川までの地域は、「落葉果樹園」及び「桑園」を主体とする植生となっている。また、笛吹川付近には「水田雑草群落」や「ツルヨシ群集」が存在する。③笛吹川から富士川町にかけての甲府盆地の底面の平野部は、「水田雑草群落」を主体に、「畑地雑草群落」、「落葉果樹園」、「桑園」及び「市街地」がモザイク状に存在する植生となっている。また、釜無川周辺には「ツルヨシ群集」が存在する。④富士川町から静岡県境にかけての地域は、「ヤマボウシブナ群集」や「イヌブナ群集」等の原生的な温帯落葉広葉樹林、「クリーミズナラ群落」や「クヌギコナラ群集」等の二次林及び「アカマツ植林」や「スギ・ヒノキ・サワラ植林」等の人工林がモザイク様に存在する植生となっている。大柳川付近には「アズマネザサーススキ群集」及び「タマアジサイーフサザクラ群集、ヤシャブシ群落」、早川付近には「ケヤキ群落」が存在する。

対象事業実施区域及びその周囲の天然記念物等の指定状況は、表4-2-1-69に示すとおりであり、国指定2件、県指定20件、市指定68件、町指定3件の計93件の天然記念物が存在する。

対象事業実施区域及びその周囲の巨樹・巨木林の存在状況は、表4-2-1-70に示すとおりであり、223の巨樹・巨木林が存在する。

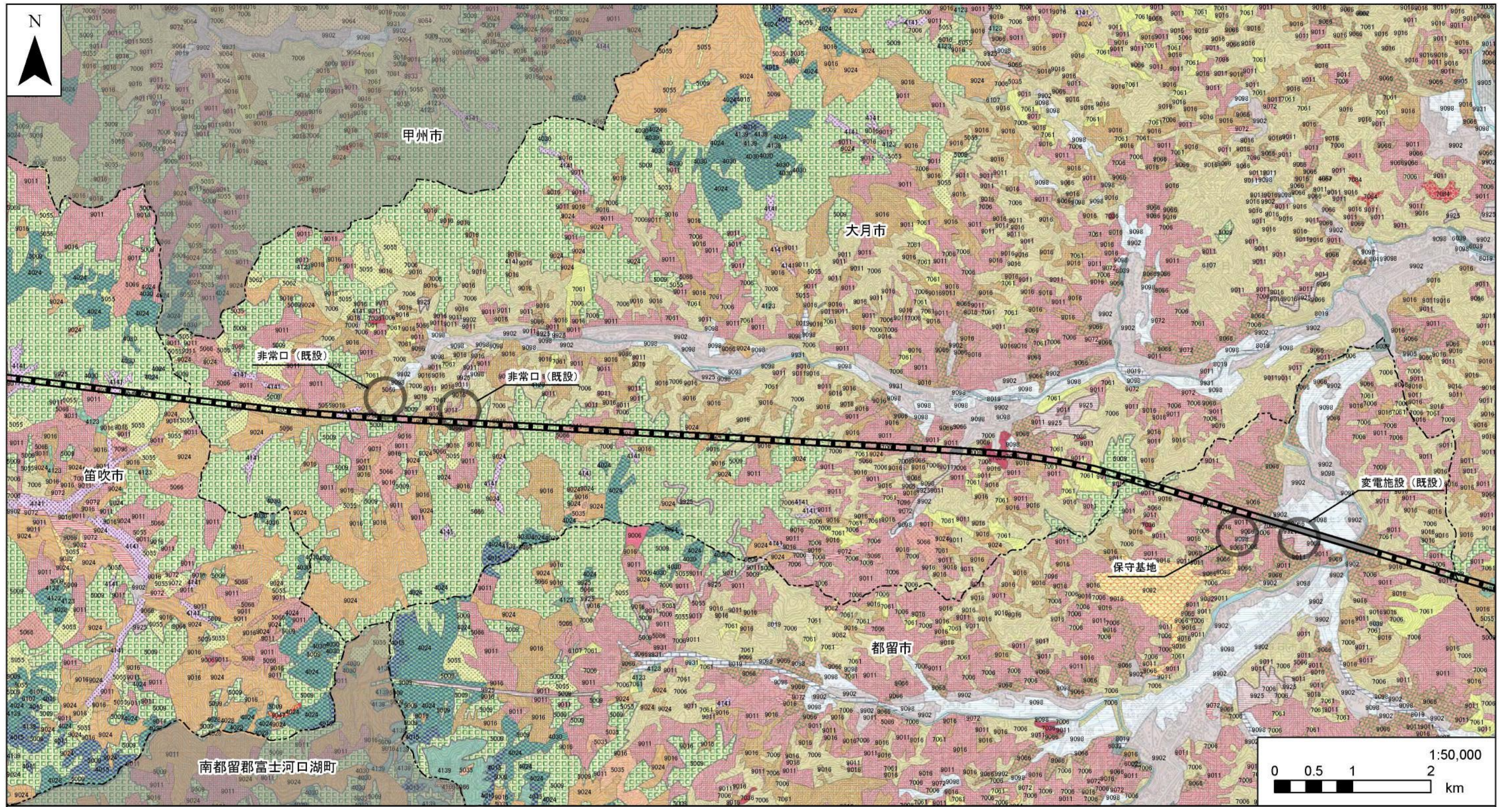
なお、対象事業実施区域及びその周囲の特定植物群落の存在状況は、表4-2-1-71に示すとおりであり、8箇所の特定植物群落が存在する。



凡例	
— (solid line)	計画路線(新設区間(地上部))
— (dashed line)	計画路線(既設区間(地上部))
--- (dotted line)	計画路線(新設区間(トンネル部))
--- (dash-dot line)	計画路線(既設区間(トンネル部))
●●● (dotted circle)	工事用道路
— (dash-dot-dot line)	都県境
--- (dotted line)	市町村境
3011 (yellow)	ダケカンバ群落
4015 (blue)	ヤマボウシ・ブナ群落
4024 (green)	イヌブナ群落
4028 (green)	オオモミジガサ・ブナ群落
4030 (green)	ツガ・コナラ群落
4057 (green)	アカマツ群落
4067 (green)	ミヤマクマワラビ・シオジ群落
4123 (green)	ケヤキ群落
4141 (purple)	タマアジサイ・フサザクラ群落、ヤシャブシ群落
5009 (green)	クリーズナラ群落
5035 (orange)	ニシキウツギ・ノリウツギ群落
5055 (green)	カワラマツバースキ群落
5066 (orange)	伐跡群落
6002 (green)	モミ・シキミ群落
6039 (green)	ケヤキ・イロハモミジ群落
7006 (green)	クヌギ・コナラ群落
7036 (red)	伐跡群落
7061 (yellow)	アズマネガサ・ススキ群落
7068 (yellow)	シバ群落
7096 (red)	クズ群落
8019 (blue)	ツルヨシ群落
9009 (red)	シラビソ群落
9011 (red)	アカマツ植林
9016 (orange)	スギ・ヒノキ・サワラ植林
9024 (orange)	カラマツ植林
9035 (orange)	落葉広葉樹植林
9044 (orange)	ヤマハンノキ植林
9047 (orange)	外国産広葉樹植林
9055 (green)	竹林
9066 (green)	桑園
9072 (orange)	畑地雑草群落
9082 (orange)	牧草地
9098 (blue)	水田雑草群落
9902 (grey)	市街地
9905 (grey)	緑の多い住宅地
9925 (grey)	造成地、裸地
9931 (blue)	開放水域
9933 (orange)	自然裸地
不明箇所	不明箇所

資料：「環境省自然環境保全基礎調査自然環境情報GISデータ（第2-5回植生調査重ね合わせ植生）」 注1. 他の図面と表示範囲が重なる箇所については、調査地点等を重複して記載しているものもある。

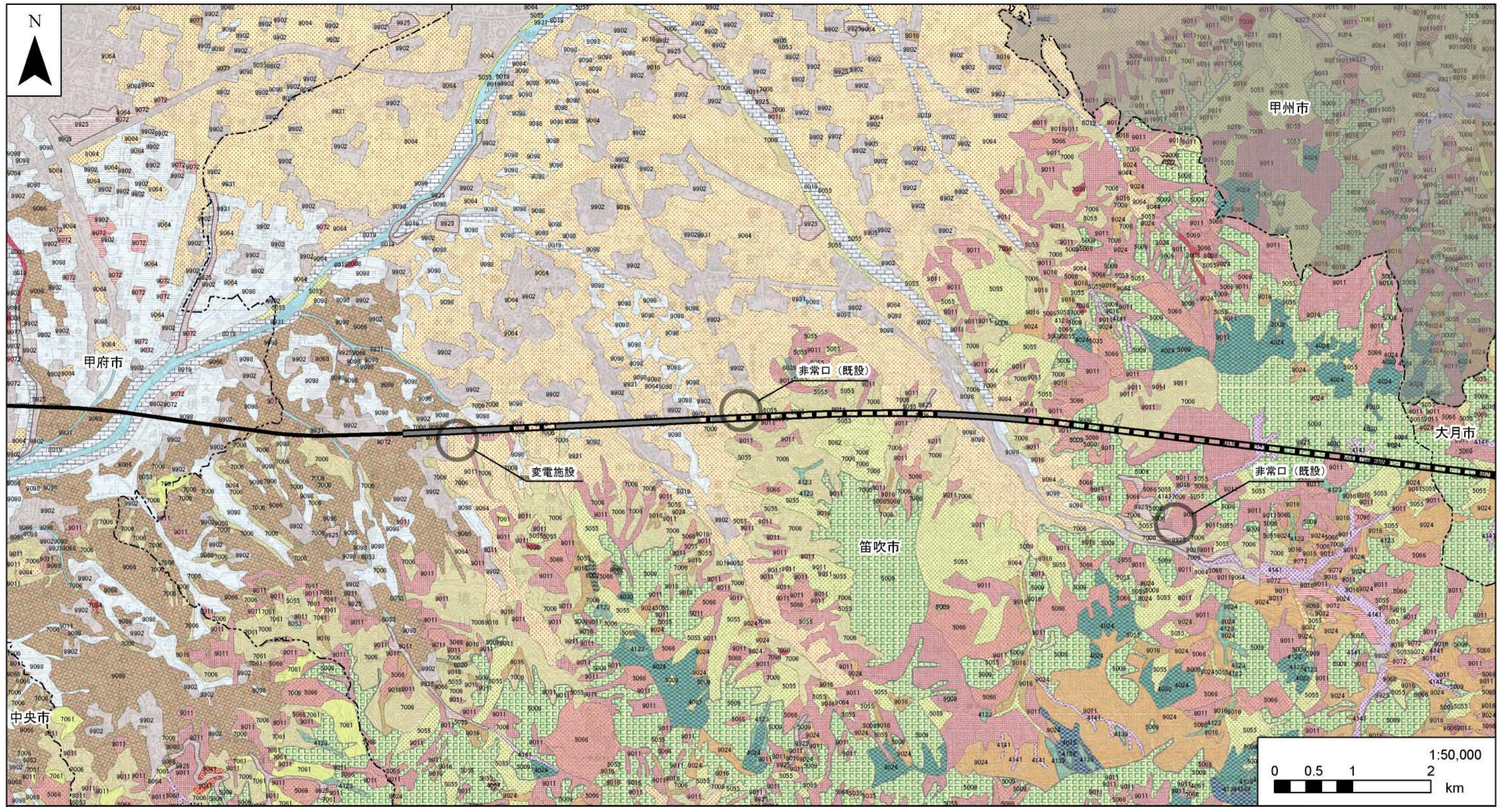
図4-2-1-21(1) 現存植生図



凡例					
	計画路線(新設区間(地上部))		4015 ヤマボウシ・ブナ群集		4139 ウラジロモミ・コメツガ群集、ハリモミ群集
	計画路線(既設区間(地上部))		4024 イブナ群集		4141 タマアジサイ・フサザクラ群集、ヤシバシ群集
	計画路線(新設区間(トンネル部))		4028 オオモミジガサ・ブナ群集		5009 クリーミズナラ群集
	計画路線(既設区間(トンネル部))		4030 ツガ・コカスゲ群集		5035 ニシキウツギ・ノリウツギ群集
	工事用道路		4057 アカマツ群集		5055 カワラマツ・バーススキ群集
	都県境		4067 ミヤマクマワラビ・シオジ群集		5062 シバ群団
	市町村境		4109 フジアカショウマ・シモツケソウ群集		5066 伐跡群集
			4123 ケヤキ群集		6002 モミ・シキミ群集
			6039 ケヤキ・イロハモミジ群集		6107 イノデータブ群集
			6107 イノデータブ群集		7006 クヌギ・コナラ群集
			7036 伐跡群集		7061 アズマネザサ・ススキ群集
			7084 ヤマツツジ・アカマツ群集		7096 クズ群集
			7096 クズ群集		8019 ツルヨシ群集
			9006 ウラジロモミ植林		9011 アカマツ植林
			9011 アカマツ植林		9016 スギ・ヒノキ・サワラ植林
			9016 スギ・ヒノキ・サワラ植林		9024 カラマツ植林
			9024 カラマツ植林		9047 外国産広葉樹植林
			9047 外国産広葉樹植林		9055 竹林
			9055 竹林		9064 落葉果樹園
			9064 落葉果樹園		9066 桑園
			9066 桑園		9072 畑地雑草群落
			9072 畑地雑草群落		9082 牧草地
			9082 牧草地		9098 水田雑草群落
			9098 水田雑草群落		9902 市街地
			9902 市街地		9905 緑の多い住宅地
			9905 緑の多い住宅地		9925 造成地、裸地
			9925 造成地、裸地		9931 開放水域
			9931 開放水域		9933 自然裸地

資料：「環境省自然環境保全基礎調査自然環境情報GISデータ（第2-5回植生調査重ね合わせ植生）」 注1. 他の図面と表示範囲が重なる箇所については、調査地点等を重複して記載しているものもある。

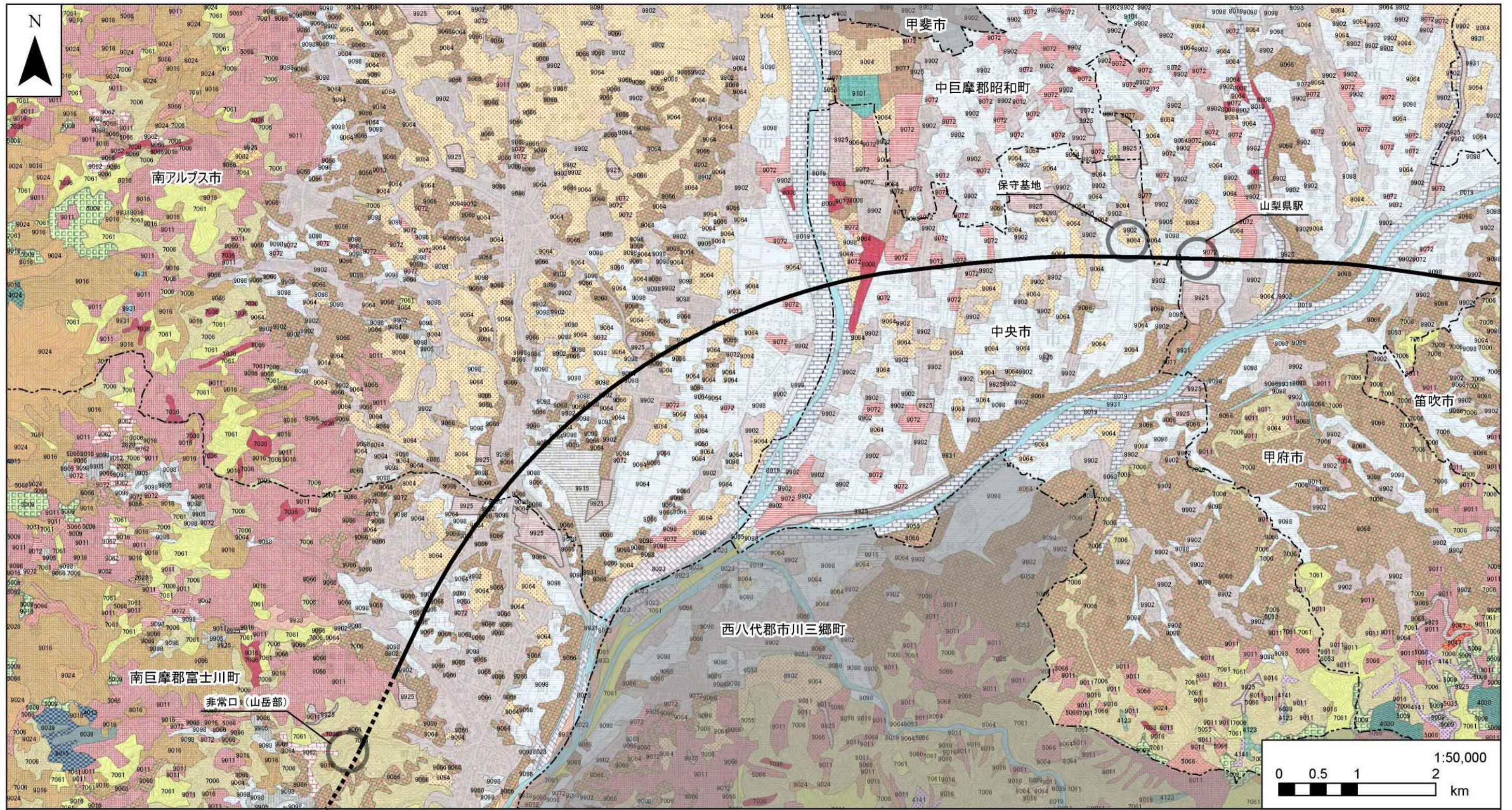
図 4-2-1-21 (2) 現存植生図



凡例	
— (solid line)	計画路線(新設区間(地上部))
— (dashed line)	計画路線(既設区間(地上部))
--- (dotted line)	計画路線(新設区間(トンネル部))
--- (dash-dot line)	計画路線(既設区間(トンネル部))
●●● (thick line)	工事用道路
--- (dashed line)	都県境
--- (dash-dot line)	市町村境
4015 (blue checkered)	ヤマボウシ・ブナ群集
4024 (green checkered)	イヌブナ群集
4028 (green checkered)	オオモミジガサ・ブナ群集
4030 (green checkered)	ツガ・コナスガ群集
4057 (brown checkered)	アカマツ群落
4067 (yellow checkered)	ミヤマクマワラビーシオジ群集
4123 (green checkered)	ケヤキ群落
4139 (green checkered)	ウラジロモミ・コマツガ群落、ハリモミ群落
4141 (purple checkered)	タマアジサイ・フサザクラ群落、ヤシバシ群落
5009 (green checkered)	クリーミズナ群落
5035 (orange checkered)	ニシキウツギ・ノリウツギ群落
5055 (yellow checkered)	カワラマツバースキ群落
5062 (yellow checkered)	シバ群団
5066 (brown checkered)	伐跡群落
6002 (brown checkered)	モミ・シキミ群落
6020 (green checkered)	サカキ・ウラジロガシ群落
6039 (green checkered)	ケヤキ・イロハモミジ群落
6053 (green checkered)	シラカン群落
6107 (green checkered)	イノデ・タブ群落
7006 (yellow checkered)	クヌギ・コナラ群落
7036 (red checkered)	伐跡群落
7061 (yellow checkered)	アズマネザサ・ススキ群落
7084 (red checkered)	ヤマツツジ・アカマツ群落
7096 (red checkered)	クズ群落
8008 (red checkered)	ヨシクラス
8019 (blue checkered)	ツルヨシ群落
9006 (red checkered)	ウラジロモミ植林
9011 (red checkered)	アカマツ植林
9016 (orange checkered)	スギ・ヒノキ・サワラ植林
9024 (orange checkered)	カラマツ植林
9044 (yellow checkered)	ヤマハンノキ植林
9047 (red checkered)	外国産広葉樹植林
9064 (yellow checkered)	落葉果樹園
9066 (green checkered)	桑園
9072 (red checkered)	畑地雑草群落
9077 (green checkered)	ヒメカシヨモギ・オオアレチノギク群落
9082 (orange checkered)	牧草地
9098 (light blue checkered)	水田雑草群落
9902 (grey checkered)	市街地
9905 (grey checkered)	緑の多い住宅地
9925 (grey checkered)	造成地、裸地
9931 (light blue checkered)	開放水域
□ (white)	不明箇所

資料：「環境省自然環境保全基礎調査自然環境情報GISデータ（第2-5回植生調査重ね合わせ植生）」 注1. 他の図面と表示範囲が重なる箇所については、調査地点等を重複して記載しているものもある。

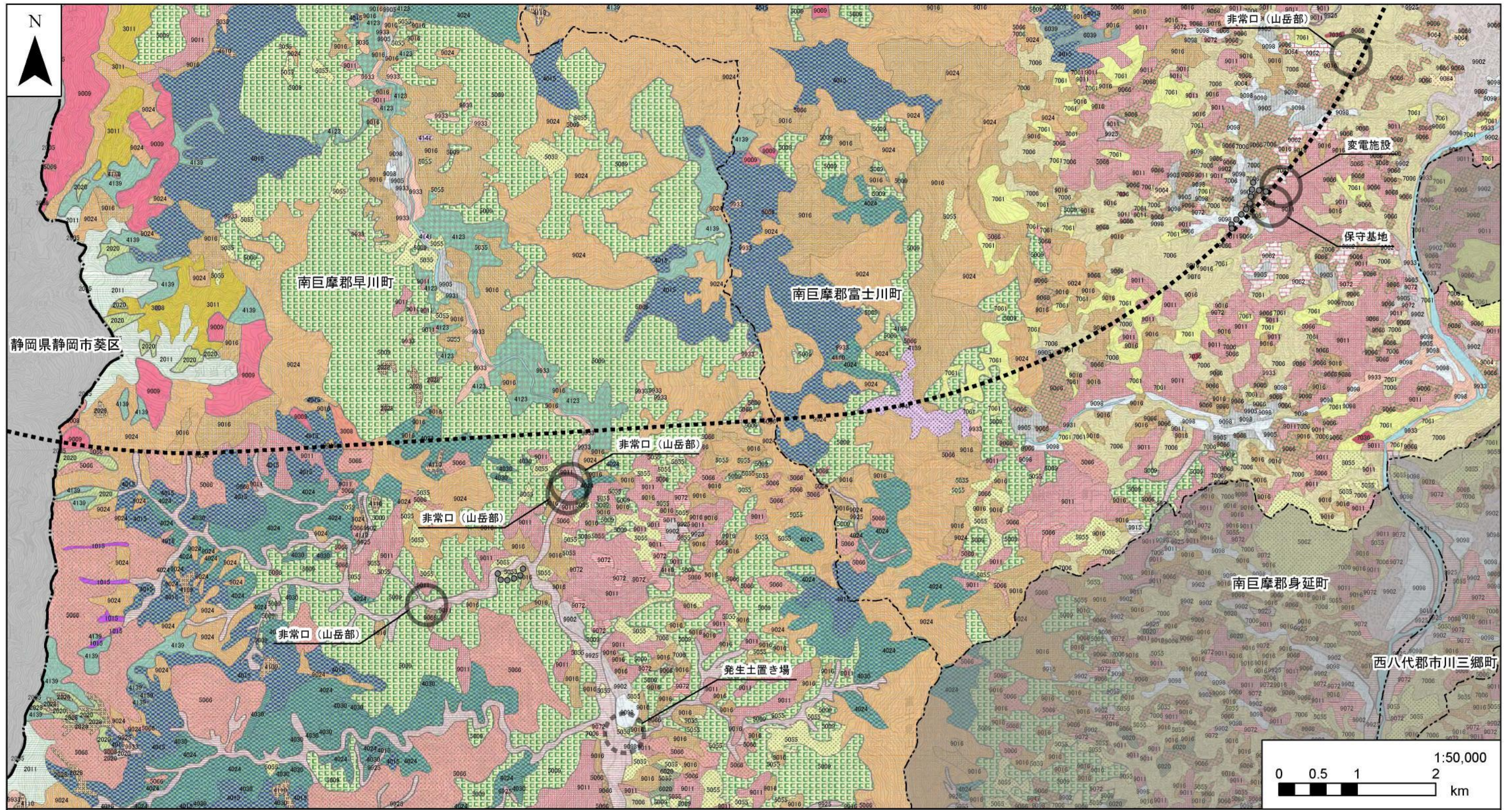
図 4-2-1-21 (3) 現存植生図



凡例					
— (solid line)	計画路線(新設区間(地上部))	2028 シナノキンバイ-ヤマキンボウゲ群団	5035 ニシキウツギー-リウツギ群落	7084 ヤマツツジ-アカマツ群集	9047 外国産広葉樹植林
— (dashed line)	計画路線(既設区間(地上部))	3008 伐跡群落	5055 カワラマツバースキ群落	8008 ヨシクラス	9062 常緑果樹園
--- (dotted line)	計画路線(新設区間(トンネル部))	4015 ヤマボウシーブナ群集	5066 伐跡群落	8019 ツルヨシ群集	9064 落葉果樹園
— (dashed line with box)	計画路線(既設区間(トンネル部))	4024 イヌブナ群集	6039 ケヤキ-イロハモミジ群集	8023 オギ群集	9066 桑園
●●● (dotted circle)	工事用道路	4030 ツガーコナスゲ群集	6053 シラカシ群集	9011 アカマツ植林	9072 畑地雑草群落
— (dash-dot line)	都県境	4123 ケヤキ群落	7006 クヌギー-コナラ群集	9013 クロマツ植林	9077 ヒメムカシモギー-オオアレチノギク群落
--- (dotted line)	市町村境	4141 タマアジサイ-フサザクラ群集、ヤシャブシ群集	7036 伐跡群落	9016 スギ・ヒノキ・サワラ植林	9082 牧草地
		5009 クリーミズナラ群落	7061 アズマネザサースキ群集	9024 カラマツ植林	9098 水田雑草群落
					9101 休耕田雑草群落
					9902 市街地
					9905 緑の多い住宅地
					9915 工場地帯
					9925 造成地、裸地
					9931 開放水域
					9933 自然裸地
					不明箇所

資料：「環境省自然環境保全基礎調査自然環境情報GISデータ（第2-5回植生調査重ね合わせ植生）」 注1. 他の図面と表示範囲が重なる箇所については、調査地点等を重複して記載しているものもある。

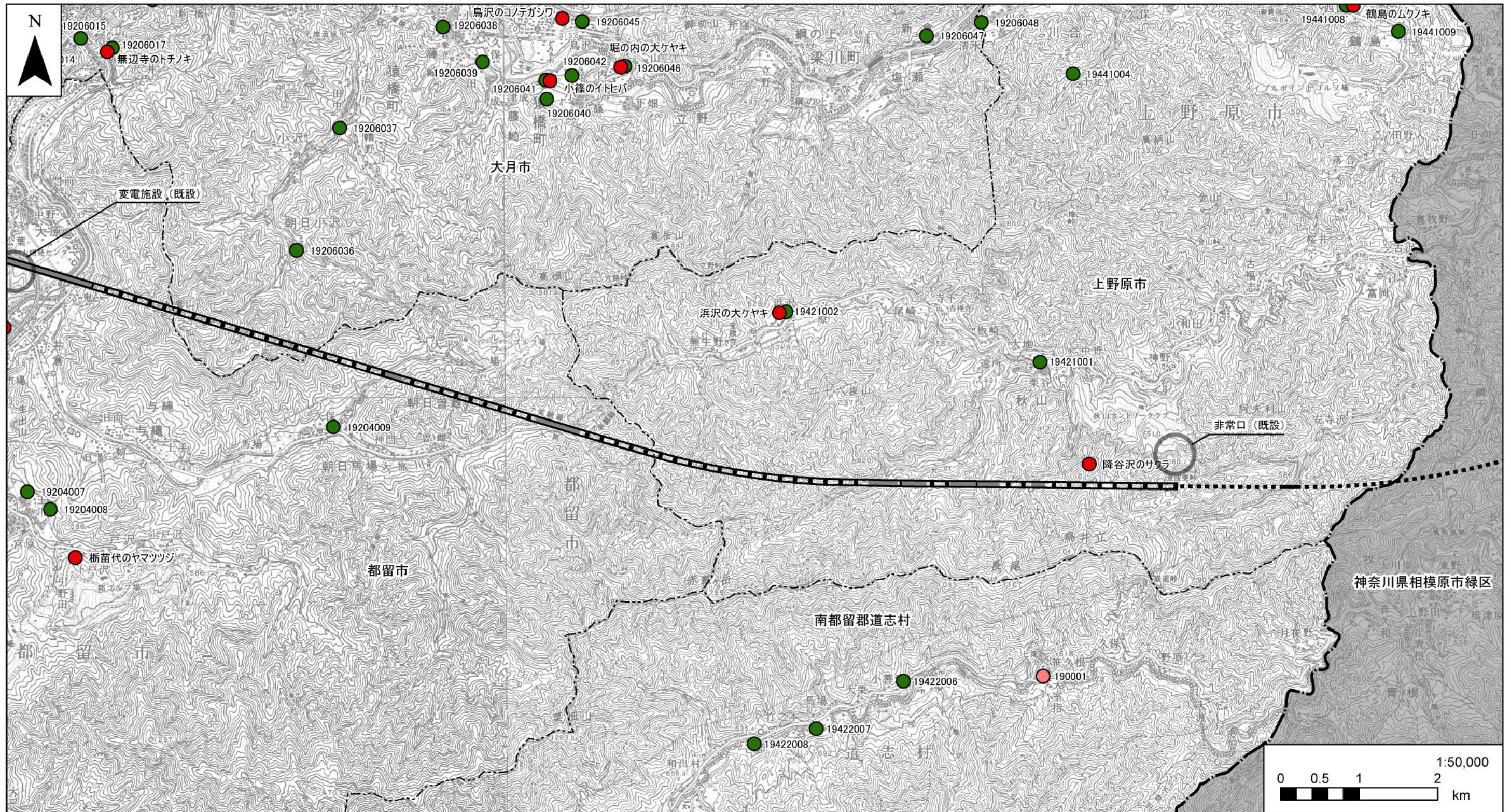
図 4-2-1-21 (4) 現存植生図



- 凡例
- 計画路線(新設区間(地上部))
 - 計画路線(既設区間(地上部))
 - 計画路線(新設区間(トンネル部))
 - 計画路線(既設区間(トンネル部))
 - 工事用道路
 - 都県境
 - 市町村境
- | | | | | |
|-----------------------|---------------------------|-------------------|-------------------|--------------|
| 1015 フジハタザオーオンタデ群集 | 4030 ツガーコナソゲ群集 | 5062 シバ群団 | 9009 シラビソ植林 | 9072 畑地雑草群落 |
| 2005 シラビソトウヒ群団 | 4109 フジアカショウマーシモツクソウ群集 | 5066 伐跡群落 | 9011 アカマツ植林 | 9098 水田雑草群落 |
| 2011 シラビソオオシラビソ群集 | 4110 フジアザミーヤマホタルブクロ群集 | 6020 サカキウラジロガシ群集 | 9016 スギ・ヒノキ・サワラ植林 | 9902 市街地 |
| 2020 ミドリユキザサダケカンバ群団 | 4123 ケヤキ群落 | 6039 ケヤキイロハモミジ群集 | 9024 カラマツ植林 | 9905 緑の多い住宅地 |
| 2028 シナノキンバイヤマキンボウゲ群団 | 4139 ウラジロモミコメツガ群落、ハリモミ群落 | 6144 河辺ヤナギ低木群落 | 9047 外国産広葉樹植林 | 9915 工場地帯 |
| 3008 伐跡群落 | 4141 タマアジサイフサザクラ群集、ヤシバシ群落 | 7006 クヌギコナラ群集 | 9055 竹林 | 9925 造成地、裸地 |
| 3011 ダケカンバ群落 | 5009 クリーミズナラ群落 | 7036 伐跡群落 | 9062 常緑果樹園 | 9931 開放水域 |
| 4015 ヤマボウシブナ群集 | 5035 ニシキウツギノリウツギ群落 | 7061 アズマネザサーススキ群集 | 9064 落葉果樹園 | 9933 自然裸地 |
| 4024 イヌブナ群集 | 5055 カワラマツバーススキ群落 | 8019 ツルヨシ群集 | 9066 桑園 | |

資料：「環境省自然環境保全基礎調査自然環境情報GISデータ(第2-5回植生調査重ね合わせ植生)」 注1. 他の図面と表示範囲が重なる箇所については、調査地点等を重複して記載しているものもある。

図4-2-1-21(5) 現存植生図



凡例

- 計画路線(新設区間(地上部))
- 計画路線(既設区間(地上部))
- ⋯⋯ 計画路線(新設区間(トンネル部))
- ▬ 計画路線(既設区間(トンネル部))
- 工事用道路
- 都県境
- 市町村境

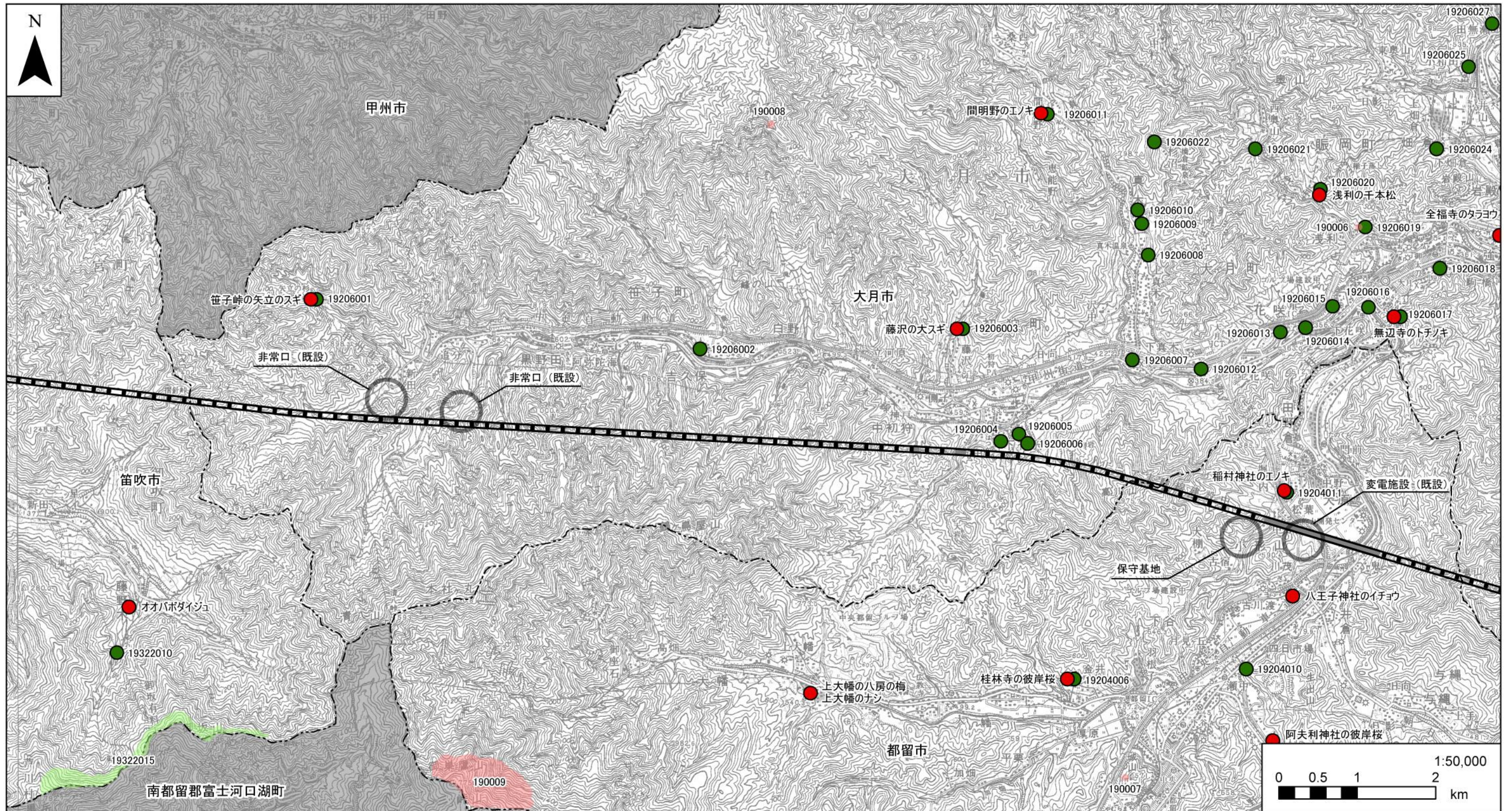
- 特定植物群落 生育地域
- 特定植物群落 生育地
- 巨樹・巨木 分布地域
- 巨樹・巨木 分布地点
- 天然記念物(植物)

資料：「環境省自然環境保全基礎調査自然環境情報GISデータ（第4回巨樹・巨木調査（分布地域、分布地点）及び第2回、3回、5回特定植物群落調査（生息地域、生息地）」
 「第4回自然環境保全基礎調査 巨樹・巨木調査報告書 甲信越・北陸版（新潟県・富山県・石川県・福井県・山梨県・長野県）」（平成3年、環境庁）
 「第2回自然環境保全基礎調査 日本の重要な植物群落 甲信越版」（昭和54年、環境庁）
 「第3回自然環境保全基礎調査 日本の重要な植物群落II 甲信越版」（昭和63年、環境庁）
 「第5回自然環境保全基礎調査 特定植物群落調査報告書」（平成12年、環境庁）
 「山梨県の文化財」（平成25年6月現在、山梨県ホームページ）
 「上野原市の市指定文化財」（平成25年6月現在、上野原市ホームページ）
 「道志村指定文化財」（平成15年7月、道志村教育委員会）
 「文化財保護法による指定物件一覧」（平成25年6月現在、大月市ホームページ）

「市内文化財一覧」（平成25年6月現在、都留市ホームページ）
 「笛吹市文化財ガイドマップ」（笛吹市教育委員会社会教育課）
 「甲府市内の文化財一覧」（平成25年6月現在、甲府市ホームページ）
 「昭和町歴史・文化財」（平成25年6月現在、昭和町ホームページ）
 「中央市文化財ガイド」（平成20年3月、中央市教育委員会）
 「歴史・文化財」（平成25年6月現在、中央市ホームページ）
 「市指定文化財」（平成25年6月現在、南アルプス市ホームページ）
 「文化財一覧表」（平成25年6月現在、富士川町ホームページ）
 「はやかわ文化財マップ」（早川町教育委員会）
 「早川町観光案内」（平成25年6月現在、早川町ホームページ）

注1. 他の図面と表示範囲が重なる箇所については、調査地点等を重複して記載しているものもある。

図 4-2-1-22(1) 重要な植物等の分布図



凡例

- 計画路線(新設区間(地上部))
- 計画路線(既設区間(地上部))
- ⋯⋯ 計画路線(新設区間(トンネル部))
- ▭ 計画路線(既設区間(トンネル部))
- 工事用道路
- 都県境
- 市町村境

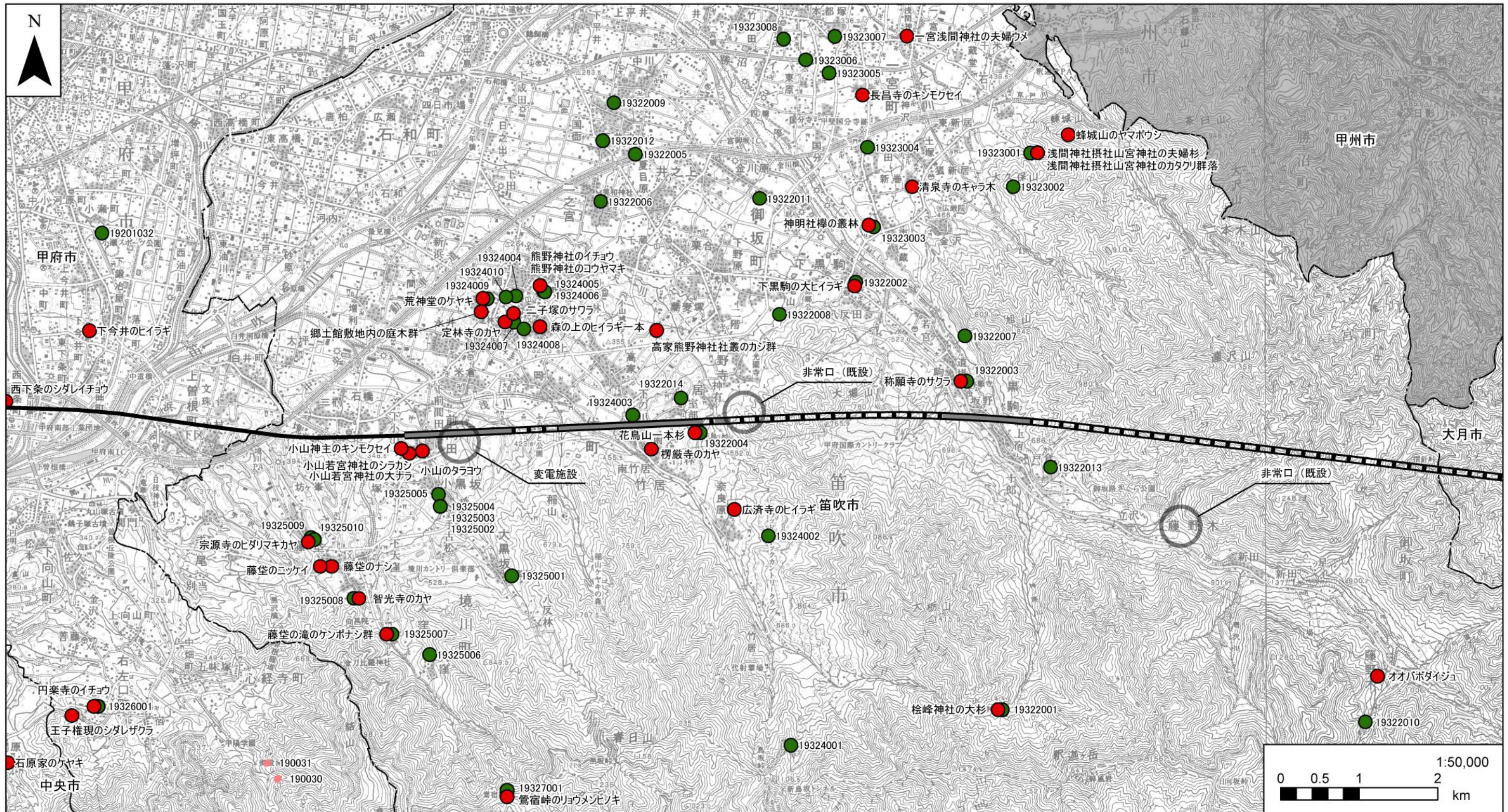
- 特定植物群落 生育地域
- 特定植物群落 生育地
- 巨樹・巨木 分布地域
- 巨樹・巨木 分布地点
- 天然記念物(植物)

資料：「環境省自然環境保全基礎調査自然環境情報GISデータ（第4回巨樹・巨木調査（分布地域、分布地点）及び第2回、3回、5回特定植物群落調査（生息地域、生息地）」
 「第4回自然環境保全基礎調査 巨樹・巨木調査報告書 甲信越・北陸版（新潟県・富山県・石川県・福井県・山梨県・長野県）」（平成3年、環境庁）
 「第2回自然環境保全基礎調査 日本の重要な植物群落 甲信越版」（昭和54年、環境庁）
 「第3回自然環境保全基礎調査 日本の重要な植物群落II 甲信越版」（昭和63年、環境庁）
 「第5回自然環境保全基礎調査 特定植物群落調査報告書」（平成12年、環境庁）
 「山梨県の文化財」（平成25年6月現在、山梨県ホームページ）
 「上野原市の市指定文化財」（平成25年6月現在、上野原市ホームページ）
 「道志村指定文化財」（平成15年7月、道志村教育委員会）
 「文化財保護法による指定物件一覧」（平成25年6月現在、大月市ホームページ）

「市内文化財一覧」（平成25年6月現在、都留市ホームページ）
 「笛吹市文化財ガイドマップ」（笛吹市教育委員会社会教育課）
 「甲府市内の文化財一覧」（平成25年6月現在、甲府市ホームページ）
 「昭和町歴史・文化財」（平成25年6月現在、昭和町ホームページ）
 「中央市文化財ガイド」（平成20年3月、中央市教育委員会）
 「歴史・文化財」（平成25年6月現在、中央市ホームページ）
 「市指定文化財」（平成25年6月現在、南アルプス市ホームページ）
 「文化財一覧表」（平成25年6月現在、富士川町ホームページ）
 「はやかわ文化財マップ」（早川町教育委員会）
 「早川町観光案内」（平成25年6月現在、早川町ホームページ）

注1. 他の図面と表示範囲が重なる箇所については、調査地点等を重複して記載しているものもある。

図 4-2-1-22(2) 重要な植物等の分布図



凡例

- 計画路線(新設区間(地上部))
- 計画路線(既設区間(地上部))
- 計画路線(新設区間(トンネル部))
- ▬ 計画路線(既設区間(トンネル部))
- 工事用道路
- 都県境
- 市町村境

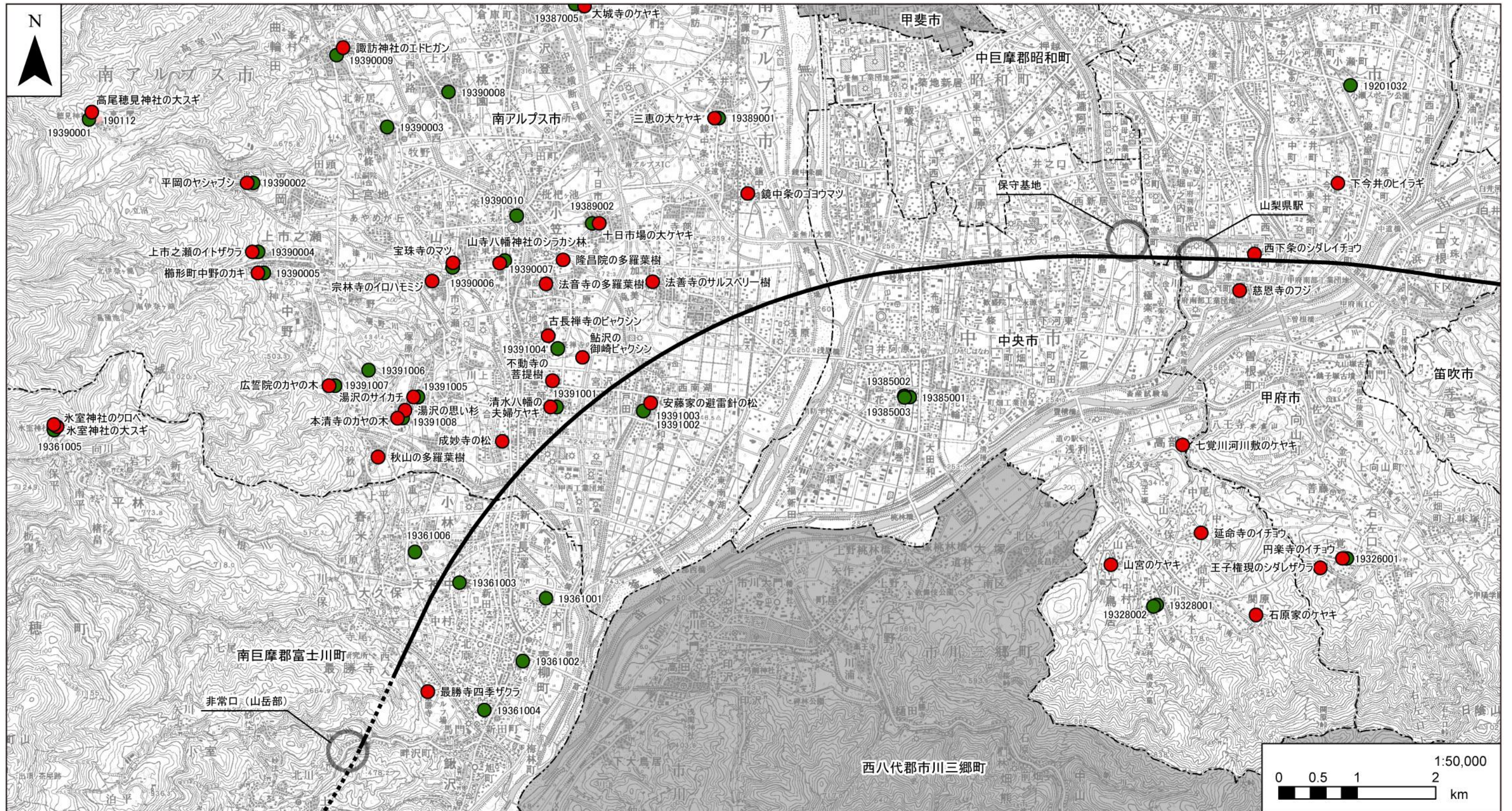
- 特定植物群落 生育地域
- 特定植物群落 生育地
- 巨樹・巨木 分布地域
- 巨樹・巨木 分布地点
- 天然記念物(植物)

資料：「環境省自然環境保全基礎調査自然環境情報GISデータ（第4回巨樹・巨木調査（分布地域、分布地点）及び第2回、3回、5回特定植物群落調査（生息地域、生息地）」
 「第4回自然環境保全基礎調査 巨樹・巨木調査報告書 甲信越・北陸版（新潟県・富山県・石川県・福井県・山梨県・長野県）」（平成3年、環境庁）
 「第2回自然環境保全基礎調査 日本の重要な植物群落 甲信越版」（昭和54年、環境庁）
 「第3回自然環境保全基礎調査 日本の重要な植物群落II 甲信越版」（昭和63年、環境庁）
 「第5回自然環境保全基礎調査 特定植物群落調査報告書」（平成12年、環境庁）
 「山梨県の文化財」（平成25年6月現在、山梨県ホームページ）
 「上野原市の市指定文化財」（平成25年6月現在、上野原市ホームページ）
 「道志村指定文化財」（平成15年7月、道志村教育委員会）
 「文化財保護法による指定物件一覧」（平成25年6月現在、大月市ホームページ）

「市内文化財一覧」（平成25年6月現在、都留市ホームページ）
 「笛吹市文化財ガイドマップ」（笛吹市教育委員会社会教育課）
 「甲府市内の文化財一覧」（平成25年6月現在、甲府市ホームページ）
 「昭和町歴史・文化財」（平成25年6月現在、昭和町ホームページ）
 「中央市文化財ガイド」（平成20年3月、中央市教育委員会）
 「歴史・文化財」（平成25年6月現在、中央市ホームページ）
 「市指定文化財」（平成25年6月現在、南アルプス市ホームページ）
 「文化財一覧表」（平成25年6月現在、富士川町ホームページ）
 「はやかわ文化財マップ」（早川町教育委員会）
 「早川町観光案内」（平成25年6月現在、早川町ホームページ）

注1. 他の図面と表示範囲が重なる箇所については、調査地点等を重複して記載しているものもある。

図 4-2-1-22(3) 重要な植物等の分布図



凡例

- 計画路線(新設区間(地上部))
- 計画路線(既設区間(地上部))
- ⋯⋯ 計画路線(新設区間(トンネル部))
- ▭ 計画路線(既設区間(トンネル部))
- 工事用道路
- 都県境
- 市町村境

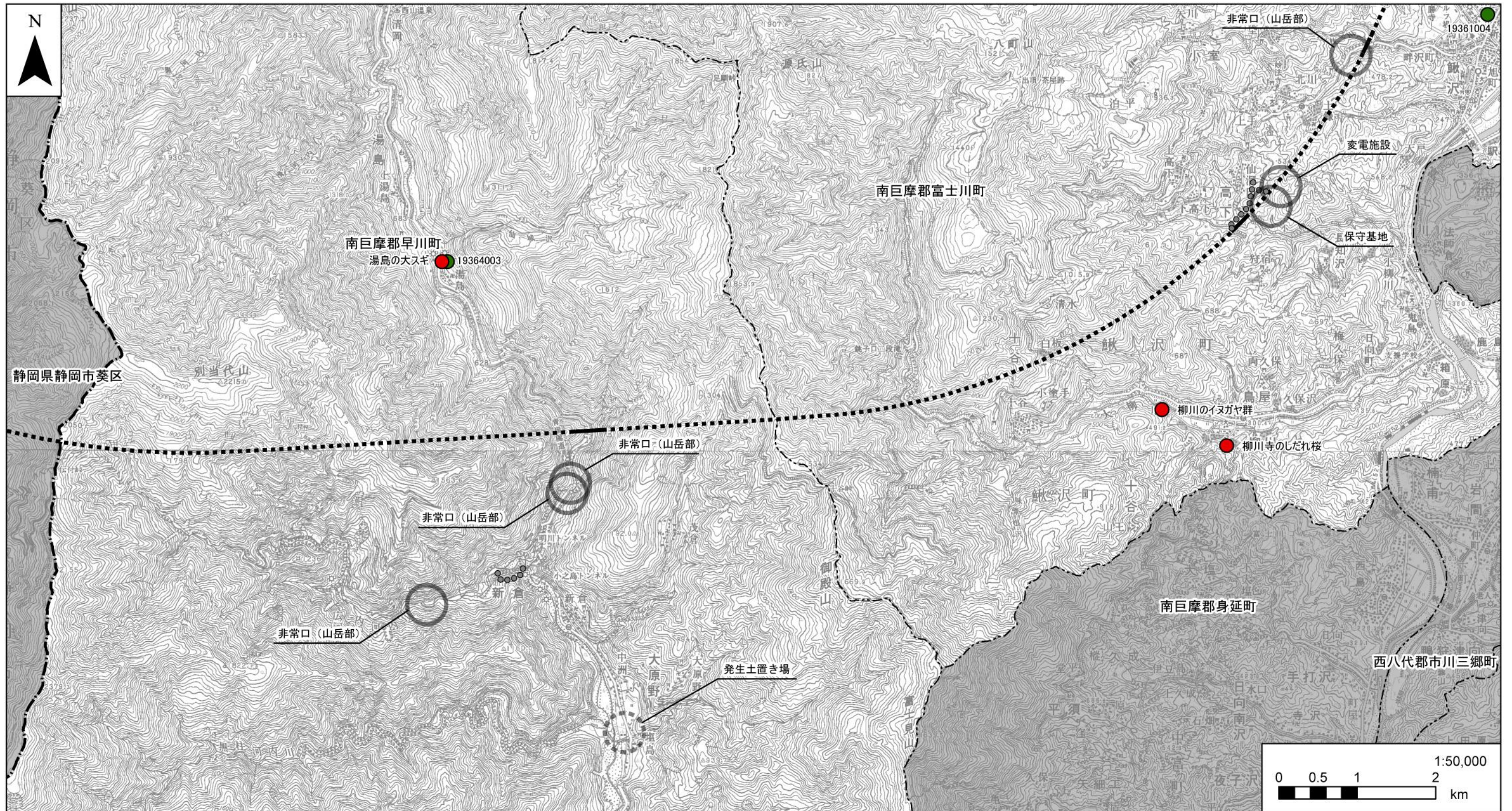
- 特定植物群落 生育地域
- 特定植物群落 生育地
- 巨樹・巨木 分布地域
- 巨樹・巨木 分布地点
- 天然記念物(植物)

資料：「環境省自然環境保全基礎調査自然環境情報GISデータ（第4回巨樹・巨木調査（分布地域、分布地点）及び第2回、3回、5回特定植物群落調査（生息地域、生息地）」
 「第4回自然環境保全基礎調査 巨樹・巨木調査報告書 甲信越・北陸版（新潟県・富山県・石川県・福井県・山梨県・長野県）」（平成3年、環境庁）
 「第2回自然環境保全基礎調査 日本の重要な植物群落 甲信越版」（昭和54年、環境庁）
 「第3回自然環境保全基礎調査 日本の重要な植物群落II 甲信越版」（昭和63年、環境庁）
 「第5回自然環境保全基礎調査 特定植物群落調査報告書」（平成12年、環境庁）
 「山梨県の文化財」（平成25年6月現在、山梨県ホームページ）
 「上野原市の市指定文化財」（平成25年6月現在、上野原市ホームページ）
 「道志村指定文化財」（平成15年7月、道志村教育委員会）
 「文化財保護法による指定物件一覧」（平成25年6月現在、大月市ホームページ）

「市内文化財一覧」（平成25年6月現在、都留市ホームページ）
 「笛吹市文化財ガイドマップ」（笛吹市教育委員会社会教育課）
 「甲府市内の文化財一覧」（平成25年6月現在、甲府市ホームページ）
 「昭和町歴史・文化財」（平成25年6月現在、昭和町ホームページ）
 「中央市文化財ガイド」（平成20年3月、中央市教育委員会）
 「歴史・文化財」（平成25年6月現在、中央市ホームページ）
 「市指定文化財」（平成25年6月現在、南アルプス市ホームページ）
 「文化財一覧表」（平成25年6月現在、富士川町ホームページ）
 「はやかわ文化財マップ」（早川町教育委員会）
 「早川町観光案内」（平成25年6月現在、早川町ホームページ）

注1. 他の図面と表示範囲が重なる箇所については、調査地点等を重複して記載しているものもある。

図 4-2-1-22(4) 重要な植物等の分布図



凡例

- 計画路線(新設区間(地上部))
- 計画路線(既設区間(地上部))
- ⋯⋯ 計画路線(新設区間(トンネル部))
- ▭ 計画路線(既設区間(トンネル部))
- 工事用道路
- 都県境
- 市町村境

- 特定植物群落 生育地域
- 特定植物群落 生育地
- 巨樹・巨木 分布地域
- 巨樹・巨木 分布地点
- 天然記念物(植物)

資料：「環境省自然環境保全基礎調査自然環境情報GISデータ（第4回巨樹・巨木調査（分布地域、分布地点）及び第2回、3回、5回特定植物群落調査（生息地域、生息地）」
 「第4回自然環境保全基礎調査 巨樹・巨木調査報告書 甲信越・北陸版（新潟県・富山県・石川県・福井県・山梨県・長野県）」（平成3年、環境庁）
 「第2回自然環境保全基礎調査 日本の重要な植物群落 甲信越版」（昭和54年、環境庁）
 「第3回自然環境保全基礎調査 日本の重要な植物群落II 甲信越版」（昭和63年、環境庁）
 「第5回自然環境保全基礎調査 特定植物群落調査報告書」（平成12年、環境庁）
 「山梨県の文化財」（平成25年6月現在、山梨県ホームページ）
 「上野原市の市指定文化財」（平成25年6月現在、上野原市ホームページ）
 「道志村指定文化財」（平成15年7月、道志村教育委員会）
 「文化財保護法による指定物件一覧」（平成25年6月現在、大月市ホームページ）

「市内文化財一覧」（平成25年6月現在、都留市ホームページ）
 「笛吹市文化財ガイドマップ」（笛吹市教育委員会社会教育課）
 「甲府市内の文化財一覧」（平成25年6月現在、甲府市ホームページ）
 「昭和町歴史・文化財」（平成25年6月現在、昭和町ホームページ）
 「中央市文化財ガイド」（平成20年3月、中央市教育委員会）
 「歴史・文化財」（平成25年6月現在、中央市ホームページ）
 「市指定文化財」（平成25年6月現在、南アルプス市ホームページ）
 「文化財一覧表」（平成25年6月現在、富士川町ホームページ）
 「はやかわ文化財マップ」（早川町教育委員会）
 「早川町観光案内」（平成25年6月現在、早川町ホームページ）

注1. 他の図面と表示範囲が重なる箇所については、調査地点等を重複して記載しているものもある。

図 4-2-1-22 (5) 重要な植物等の分布図

表 4-2-1-69(1) 対象事業実施区域及びその周囲の天然記念物（植物）

指定別	名称	所在地	指定年月日
国指定	古長禅寺のビャクシン	南アルプス市鮎沢 505	S29. 6. 21
国指定	三恵の大ケヤキ	南アルプス市寺部宇今井	S3. 11. 30
県指定	鶴島のムクノキ	上野原市鶴島 1461	S41. 5. 30
県指定	全福寺のタラヨウ	大月市賑岡町強瀬 425	S38. 9. 9
県指定	笹子峠の矢立のスギ	大月市笹子町大字黒野田字笹子 1924-1	S35. 11. 7
県指定	上大幡のナシ	都留市大幡 4229	S35. 11. 7
県指定	下黒駒の大ヒイラギ	笛吹市御坂町下黒駒 78-3、85-2	S60. 3. 19
県指定	称願寺のサクラ	笛吹市御坂町上黒駒 2969	S63. 11. 16
県指定	一宮浅間神社の夫婦ウメ	笛吹市一宮町一ノ宮 1684	S35. 11. 7
県指定	智光寺のカヤ	笛吹市境川町藤垜 322	S45. 10. 26
県指定	宗源寺のヒダリマキカヤ	笛吹市境川町藤垜 4771	S45. 10. 26
県指定	鶯宿峠のリョウメンヒノキ	笛吹市芦川町鶯宿峠	S36. 12. 7
県指定	慈恩寺のフジ	甲府市大津町 1322	S62. 1. 21
県指定	鏡中条のゴウマツ	南アルプス市鏡中条 461	S45. 10. 26
県指定	十日市場の大ケヤキ	南アルプス市十日市場 1959	S61. 3. 19
県指定	宝珠寺のマツ	南アルプス市山寺 950	S35. 11. 7
県指定	湯沢のサイカチ	南アルプス市湯沢 113-1	S39. 6. 25
県指定	湯沢の思い杉	南アルプス市湯沢中丸 2248	S35. 11. 7
県指定	櫛形町中野のカキ	南アルプス市中野 207	S35. 11. 7
県指定	氷室神社の大スギ	富士川町平林鷲尾山 3334	S48. 7. 12
県指定	柳川のイヌガヤ群	富士川町柳川字神ノ前 2037	H6. 11. 7
県指定	湯島の大スギ	早川町湯島字上の山 1048	S33. 6. 19
市指定	浜沢の大ケヤキ	上野原市秋山 11840	S61. 10. 1
市指定	降谷沢のサクラ	上野原市秋山 6210-2	H8. 12. 3
市指定	堀ノ内の大ケヤキ	大月市富浜町鳥沢 3393	S49. 8. 8
市指定	鳥沢のコノテガシワ	大月市富浜町鳥沢 1979	S51. 8. 8
市指定	小篠のイトヒバ	大月市猿橋町小篠 657-1	S49. 8. 8
市指定	無辺寺のトチノキ	大月市大月 2-9-20	S51. 8. 8
市指定	浅利の千本マツ	大月市賑岡町浅利 1025	S49. 8. 8
市指定	間明野のエノキ	大月市大月町真木 6484	S49. 8. 8
市指定	藤沢の大スギ	大月市初狩町下初狩 2130	S49. 8. 8
市指定	栴苗代のヤマツツジ	都留市大野 2116 番地	H10. 6. 4
市指定	阿夫利神社の彼岸桜	都留市玉川 570	S49. 4. 11
市指定	桂林寺の彼岸桜	都留市金井 397	S49. 4. 11
市指定	八王子神社のイチョウ	都留市古川渡 891	H5. 1. 18
市指定	稲村神社のエノキ	都留市小形山 1565	H2. 3. 28
市指定	上大幡の八房の梅	都留市大幡 4229	S49. 4. 11
市指定	小山若宮神社の大ナラ	笛吹市境川町小山 1027	H16. 10. 12
市指定	小山若宮神社のシラカシ	笛吹市境川町小山 1027	H16. 10. 12
市指定	小山のタラヨウ	笛吹市境川町小山 684	H16. 10. 12
市指定	小山神主のキンモクセイ	笛吹市境川町小山 1163	H16. 10. 12
市指定	藤垜のナシ	笛吹市境川町藤垜 139-2	H16. 10. 12
市指定	藤垜のニッケイ	笛吹市境川町藤垜 118	H16. 10. 12
市指定	藤垜の滝のケンボナシ群	笛吹市境川町大窪 597-2	H16. 10. 12
市指定	高家熊野神社社叢のカシ群	笛吹市八代町高家 2355	H16. 10. 12
市指定	楞嚴寺のカヤ	笛吹市八代町竹居 796	H16. 10. 12
市指定	広済寺のヒイラギ	笛吹市八代町奈良原 373	H16. 10. 12
市指定	荒神堂のケヤキ	笛吹市八代町南 1206	H16. 10. 12
市指定	二子塚のサワラ	笛吹市八代町南 556-1	H16. 10. 12
市指定	定林寺のカヤ	笛吹市八代町南 747	H16. 10. 12
市指定	郷土館敷地内の庭木群	笛吹市八代町南 796	H16. 10. 12
市指定	森の上のヒイラギー一本	笛吹市八代町南 344	H16. 10. 12
市指定	熊野神社のコウヤマキ	笛吹市八代町北 1615	H16. 10. 12
市指定	熊野神社のイチョウ	笛吹市八代町北 1615	H16. 10. 12
市指定	花鳥山一本杉	笛吹市御坂町竹居	H16. 10. 12
市指定	大口山のモウセンゴケ群生地	笛吹市八代町竹居	H16. 10. 12

表 4-2-1-69(2) 対象事業実施区域及びその周囲の天然記念物（植物）

指定別	名称	所在地	指定年月日
市指定	桧峰神社大杉	笛吹市御坂町上黒駒 5119	H16. 10. 12
市指定	オオバボダイジュ	笛吹市御坂町藤野木 1825	H16. 10. 12
市指定	浅間神社撰社山宮神社の夫婦杉	笛吹市一宮町一ノ宮 1705	H16. 10. 12
市指定	浅間神社撰社山宮神社のカタクリ群落	笛吹市一宮町一ノ宮 1705	H16. 10. 12
市指定	神明社櫟の叢林	笛吹市一宮町市之蔵 960	H16. 10. 12
市指定	清泉寺のキャラ木	笛吹市一宮町新巻 506	H16. 10. 12
市指定	蜂城山のヤマボウシ	笛吹市一宮町石（蜂城山中腹）	H16. 10. 12
市指定	長昌寺のキンモクセイ	笛吹市一宮町末木 112	H16. 10. 12
市指定	円楽寺のイチョウ	甲府市右左口町 4104	H19. 6. 30
市指定	王子権現のシダレザクラ	甲府市右左口町 3239	H19. 6. 30
市指定	西下条のシダレイチョウ	甲府市西下条町 734	S42. 4. 11
市指定	下今井のヒイラギ	甲府市下今井町 745	S42. 11. 14
市指定	七覚川河川敷のケヤキ	中央市高部 1253	H4. 2. 10
市指定	山宮のケヤキ	中央市大鳥居 2764-1	S45. 5. 30
市指定	延命寺のイチョウ	中央市木原 1076	H4. 2. 10
市指定	石原家のケヤキ	中央市関原 1333	H4. 2. 10
市指定	鮎沢の御崎ビャクシン	南アルプス市鮎沢 754	S49. 1. 29
市指定	山寺八幡神社のシラカシ林	南アルプス市下宮地 470	S54. 2. 15
市指定	宗林寺のイロハモミジ	南アルプス市下市之瀬 240	S62. 12. 1
市指定	法善寺のサルスベリ一樹	南アルプス市加賀美 3509	S62. 7. 1
市指定	諏訪神社のエドヒガン	南アルプス市曲輪田 1077-2	S62. 12. 1
市指定	不動寺の菩提樹	南アルプス市古市場 180	S44. 11. 13
市指定	隆昌院の多羅葉樹	南アルプス市江原 1550	H1. 2. 27
市指定	法音寺の多羅葉樹	南アルプス市江原 1587	S44. 11. 13
市指定	高尾穂見神社の大スギ	南アルプス市高尾 485	H5. 11. 25
市指定	大城寺のケヤキ	南アルプス市在家塚 347	S53. 2. 16
市指定	上市之瀬のイトザクラ	南アルプス市上市之瀬 1436	S51. 3. 2
市指定	清水八幡の夫婦ケヤキ	南アルプス市清水 92	S42. 10. 1
市指定	安藤家の避雷針の松	南アルプス市西南湖 4302	S44. 11. 13
市指定	広誓院のカヤの木	南アルプス市湯沢 1826	S44. 11. 13
市指定	本清寺のカヤの木	南アルプス市湯沢 913	S44. 1. 13
市指定	平岡のヤシヤブシ	南アルプス市平岡 2910	S61. 9. 1
市指定	成妙寺の松	南アルプス市落合 150	S49. 1. 29
市指定	秋山の多羅葉樹	南アルプス市秋山 596	S42. 10. 1
町指定	氷室神社のクロベ	富士川町平林	S57. 3. 30
町指定	柳川寺のしだれ桜	富士川町柳川 1354	S47. 10. 1
町指定	四季ザクラ	富士川町最勝寺 2016	S47. 7. 14

資料：「山梨県の文化財」（平成 25 年 6 月現在、山梨県ホームページ）
「上野原市の市指定文化財」（平成 25 年 6 月現在、上野原市ホームページ）
「道志村指定文化財」（平成 15 年 7 月、道志村教育委員会）
「文化財保護法による指定物件一覧」（平成 25 年 6 月現在、大月市ホームページ）
「市内文化財一覧」（平成 25 年 6 月現在、都留市ホームページ）
「笛吹市文化財ガイドマップ」（笛吹市教育委員会社会教育課）
「甲府市内の文化財一覧」（平成 25 年 6 月現在、甲府市ホームページ）
「昭和町歴史・文化財」（平成 25 年 6 月現在、昭和町ホームページ）
「中央市文化財ガイド」（平成 20 年 3 月、中央市教育委員会）
「歴史・文化財」（平成 25 年 6 月現在、中央市ホームページ）
「市指定文化財」（平成 25 年 6 月現在、南アルプス市ホームページ）
「文化財一覧表」（平成 25 年 6 月現在、富士川町ホームページ）
「はやかわ文化財マップ」（早川町教育委員会）
「早川町観光案内」（平成 25 年 6 月現在、早川町ホームページ）

表 4-2-1-70(1) 対象事業実施区域及びその周囲の巨樹・巨木林

番号	所在地	推定樹齢 (年)	樹種名	幹周	樹高	通称・呼称
				(cm)	(m)	
19201032	甲府市 天津司神社	不明	ケヤキ	450	8	
19204006	都留市	300 以上	エドヒガン	370	12	
19204007	都留市	300 以上	スギ	395	38	
19204008	都留市	300 以上	エドヒガン	445	8	
19204009	都留市	300 以上	ケヤキ	335	25	
19204009	都留市	300 以上	ケヤキ	338	25	
19204009	都留市	300 以上	スギ	393	30	
19204009	都留市	300 以上	スギ	332	25	
19204010	都留市	300 以上	スギ	370	30	
19204010	都留市	300 以上	スギ	371	32	
19204010	都留市	300 以上	ケヤキ	335	28	
19204010	都留市	300 以上	ケヤキ	475	28	
19204011	都留市	300 以上	ムクノキ	380	27	
19206001	大月市 笹子峠	伝承 1000	スギ	907	24	矢立のスギ
19206002	大月市 原	300 以上	スギ	798	25	
19206003	大月市 藤沢	300 以上	スギ	675	40	藤沢の大スギ
19206003	大月市 藤沢	300 以上	スギ	418	40	
19206003	大月市 藤沢	300 以上	トチノキ	458	25	
19206004	大月市 下和狩	300 以上	スギ	320	35	
19206004	大月市 下和狩	300 以上	スギ	305	30	
19206004	大月市 下和狩	300 以上	スギ	347	18	
19206004	大月市 下和狩	300 以上	ケヤキ	370	22	
19206005	大月市 下和狩	300 以上	ツガ	370	32	
19206005	大月市 下和狩	300 以上	ツガ	358	30	
19206005	大月市 下和狩	300 以上	ケヤキ	415	28	
19206006	大月市 下和狩	300 以上	イチョウ	630	30	
19206007	大月市 真木	300 以上	スギ	330	33	
19206008	大月市 真木	300 以上	スギ	330	30	
19206009	大月市 真木	300 以上	イチョウ	382	17	
19206010	大月市 真木	300 以上	ヒムロ	310	18	
19206011	大月市 真明野	300 以上	イチョウ	327	22	
19206011	大月市 真明野	300 以上	エドヒガン	380	15	
19206011	大月市 真明野	300 以上	スギ	352	28	
19206011	大月市 真明野	300 以上	エゾエノキ	362	16	
19206012	大月市 前沢	300 以上	スギ	323	22	
19206013	大月市 上花咲	300 以上	スギ	430	30	
19206014	大月市 上花咲	300 以上	スギ	378	28	
19206014	大月市 上花咲	300 以上	スギ	342	25	
19206014	大月市 上花咲	300 以上	スギ	330	25	
19206014	大月市 上花咲	300 以上	ケヤキ	360	26	
19206014	大月市 上花咲	300 以上	ケヤキ	318	25	
19206014	大月市 上花咲	300 以上	ケヤキ	407	22	
19206015	大月市 上花咲	300 以上	ケンボナシ	540	8	
19206016	大月市 大月橋	300 以上	ケヤキ	380	20	
19206016	大月市 大月橋	300 以上	ケヤキ	300	18	
19206017	大月市 大月	300 以上	トチノキ	465	22	無辺寺のトチノキ
19206018	大月市 駒橋	300 以上	エノキ	325	15	
19206018	大月市 駒橋	300 以上	ケヤキ	560	18	
19206019	大月市 浅利	300 以上	シラカシ	320	18	
19206019	大月市 浅利	300 以上	シラカシ	318	20	
19206019	大月市 浅利	300 以上	シラカシ	300	18	
19206020	大月市 浅利	300 以上	アカマツ	700	8	浅利の御座松
19206021	大月市 浅利	300 以上	スギ	408	35	子育てのスギ

注1. 表中の所在地については、資料図書をそのまま記載するため、市町村合併前の旧市町村名等が掲載されている場合がある。なお、現在の市町村名を（ ）内に記載した。

表 4-2-1-70(2) 対象事業実施区域及びその周囲の巨樹・巨木林

番号	所在地	推定樹齢 (年)	樹種名	幹周	樹高	通称・呼称
				(cm)	(m)	
19206021	大月市 浅利	300 以上	スギ	430	35	子育てのスギ
19206022	大月市 杉沼	300 以上	トチノキ	435	25	
19206022	大月市 杉沼	300 以上	トチノキ	302	20	
19206024	大月市 畑倉	300 以上	スギ	367	32	
19206024	大月市 畑倉	300 以上	スギ	335	30	
19206024	大月市 畑倉	300 以上	スギ	318	30	
19206024	大月市 畑倉	300 以上	ケヤキ	330	22	
19206025	大月市 小和田	300 以上	エドヒガン	460	15	小和田のサクラ
19206027	大月市 ゆるぎ	300 以上	イロハモミジ	310	10	寛城のカエデ
19206036	大月市 朝日小沢	300 以上	イチョウ	330	10	
19206036	大月市 朝日小沢	300 以上	ケヤキ	463	28	
19206036	大月市 朝日小沢	300 以上	スギ	315	30	
19206037	大月市 畑野	300 以上	スギ	420	30	
19206038	大月市 藤崎	300 以上	シラカシ	340	20	
19206038	大月市 藤崎	300 以上	クスノキ	380	24	
19206039	大月市 大田	300 以上	スギ	442	30	
19206039	大月市 大田	300 以上	スギ	380	30	
19206039	大月市 大田	300 以上	スギ	330	28	
19206040	大月市 小篠	300 以上	スギ	360	28	
19206041	大月市 小篠	300 以上	ヒヨクヒバ	405	18	小篠のイトヒバ
19206042	大月市 小篠	300 以上	イチョウ	515	9	
19206045	大月市 島沢	300 以上	スギ	301	25	
19206045	大月市 島沢	300 以上	スギ	336	28	
19206045	大月市 島沢	300 以上	ケヤキ	360	25	
19206045	大月市 島沢	300 以上	ケヤキ	318	26	
19206045	大月市 島沢	300 以上	ケヤキ	378	26	
19206046	大月市 堀之内	300 以上	ケヤキ	845	35	堀の内のケヤキ
19206047	大月市 新倉	300 以上	ムクノキ	310	23	
19206048	大月市 塩瀬	300 以上	スギ	423	30	
19206048	大月市 塩瀬	300 以上	スギ	333	32	
19206048	大月市 塩瀬	300 以上	スギ	302	25	
19322001	御坂町 (笛吹市) 桧峰神社	300 以上	スギ	710	31	桧峰神社の大杉
19322001	御坂町 (笛吹市) 桧峰神社	300 以上	クリ	310	25	
19322001	御坂町 (笛吹市) 桧峰神社	300 以上	ツガ	312	40	
19322001	御坂町 (笛吹市) 桧峰神社	300 以上	アジサイ	315	35	
19322002	御坂町 (笛吹市) 海潮院	伝承 420	クロマツ	335	28	海潮院のシダレ クロマツ
19322003	御坂町 (笛吹市) 称願寺	伝承 500	サトザクラ	400	8	称願サクラ
19322004	御坂町 (笛吹市) 花島一本杉	300 以上	スギ	830	40	花島一本杉
19322005	御坂町 (笛吹市) 南照院	伝承 700	ケヤキ	700	28.5	南照院の大ケヤ キ
19322006	御坂町 (笛吹市) 美和神社	300 以上	ヒノキ	362	35	
19322007	御坂町 (笛吹市) 若宮観音堂	300 以上	カヤ	340	20	
19322008	御坂町 (笛吹市) 杵衝神社	300 以上	スギ	435	31	
19322009	御坂町 (笛吹市) 正法寺	300 以上	シラカシ	400	21	
19322010	御坂町 (笛吹市) 御坂寺	300 以上	ケヤキ	507	20	
19322011	御坂町 (笛吹市) 迎富士浅間 神社	300 以上	ケヤキ	405	15	
19322012	御坂町 (笛吹市) 西之宮神社	300 以上	ケヤキ	350	23	
19322013	御坂町 (笛吹市) 戸倉神社	300 以上	スギ	362	40	
19322014	御坂町 (笛吹市) 竹居一本杉	300 以上	スギ	320	18	竹居一本杉
19322015	御坂町 (笛吹市) 御坂山	200~299	ミズナラ	330	14.5	
19322015	御坂町 (笛吹市) 御坂山	200~299	ブナ	370	13.5	

注1. 表中の所在地については、資料図書をそのまま記載するため、市町村合併前の旧市町村名等が掲載されている場合がある。なお、現在の市町村名を () 内に記載した。

表 4-2-1-70(3) 対象事業実施区域及びその周囲の巨樹・巨木林

番号	所在地	推定樹齢 (年)	樹種名	幹周	樹高	通称・呼称
				(cm)	(m)	
19322015	御坂町(笛吹市) 御坂山	200~299	ミズナラ	345	14	
19322015	御坂町(笛吹市) 御坂山	200~299	ブナ	370	15.5	
19323001	一宮町(笛吹市) 山宮	300以上	スギ	1,030	37	山宮の夫婦杉
19323002	一宮町(笛吹市) 大久保山	300以上	アカマツ	480	12	大久保山のアカマツ
19323003	一宮町(笛吹市) 市之蔵	300以上	ケヤキ	415	16	神明社のケヤキ
19323003	一宮町(笛吹市) 市之蔵	300以上	ケヤキ	340	15	
19323003	一宮町(笛吹市) 市之蔵	300以上	ケヤキ	320	15	
19323003	一宮町(笛吹市) 市之蔵	300以上	スギ	505	17	
19323004	一宮町(笛吹市) 塩田	300以上	シラカシ	355	24.5	
19323005	一宮町(笛吹市) 両ノ木神社	300以上	ケヤキ	437	32	
19323005	一宮町(笛吹市) 両ノ木神社	300以上	スギ	591	23.5	
19323005	一宮町(笛吹市) 両ノ木神社	300以上	ケヤキ	426	24.5	
19323006	一宮町(笛吹市) 東原の浪人のマツ	300以上	クロマツ	378	16.5	浪人のマツ
19323007	一宮町(笛吹市) 本都塚	300以上	ケヤキ	440	16	
19323008	一宮町(笛吹市) 甲斐奈神社	300以上	ケヤキ	350	23	
19323008	一宮町(笛吹市) 甲斐奈神社	300以上	ケヤキ	330	23	
19323008	一宮町(笛吹市) 甲斐奈神社	300以上	ケヤキ	325	22.5	
19323008	一宮町(笛吹市) 甲斐奈神社	300以上	ケヤキ	310	23	
19324001	八代町(笛吹市) 大口山のモミ	200~299	モミ	470	24	大口山のモミ
19324002	八代町(笛吹市) 経ヶ峰のマツ	100~199	アカマツ	360	15	経ヶ峰のマツ
19324003	八代町(笛吹市) 楞巖寺のカヤ	200~299	カヤ	400	23	楞巖寺のカヤ
19324004	八代町(笛吹市) 熊野神社前のケヤキ	200~299	ケヤキ	410	35	
19324004	八代町(笛吹市) 熊野神社前のケヤキ	200~299	ケヤキ	375	35	
19324004	八代町(笛吹市) 熊野神社前のケヤキ	200~299	ケヤキ	330	34	
19324004	八代町(笛吹市) 熊野神社前のケヤキ	200~299	ケヤキ	400	35	
19324005	八代町(笛吹市) 熊野神社のイチヨウ	200~299	イチヨウ	365	29	熊野神社のイチヨウ
19324005	八代町(笛吹市) 熊野神社のイチヨウ	200~299	ケヤキ	320	30	
19324006	八代町(笛吹市) 熊野神社のコウヤマキ	100~199	コウヤマキ	305	21	熊野神社のコウヤマキ
19324006	八代町(笛吹市) 熊野神社	100~199	ハリギリ	350	25	
19324007	八代町(笛吹市) 定林寺のカヤ	300以上	カヤ	430	20	定林寺のカヤ
19324007	八代町(笛吹市) 定林寺	300以上	トチノキ	300	30.5	
19324007	八代町(笛吹市) 定林寺	300以上	ケヤキ	400	35	
19324007	八代町(笛吹市) 定林寺	300以上	モミ	310	30	
19324008	八代町(笛吹市) 二子塚のサクラ	200~299	サワラ	400	17	二子塚のサクラ
19324009	八代町(笛吹市) 荒神堂のケヤキ	伝承700	ケヤキ	690	18	荒神堂のケヤキ
19324010	八代町(笛吹市) 南, 樋口猛宅のケヤキ	300以上	ケヤキ	310	20	
19325001	境川村(笛吹市) 大黒坂	不明	スギ	338	27	

注1. 表中の所在地については、資料図書をそのまま記載するため、市町村合併前の旧市町村名等が掲載されている場合がある。なお、現在の市町村名を()内に記載した。

表 4-2-1-70(4) 対象事業実施区域及びその周囲の巨樹・巨木林

番号	所在地	推定樹齢 (年)	樹種名	幹周	樹高	通称・呼称
				(cm)	(m)	
19325001	境川村 (笛吹市) 大黒坂	不明	スギ	300	27	
19325002	境川村 (笛吹市)	99 以下	トチノキ	385	23	
19325003	境川村 (笛吹市)	100～199	エノキ	399	25	
19325004	境川村 (笛吹市)	300 以上	ケヤキ	662	25	
19325005	境川村 (笛吹市) 小黒坂	100～199	ケヤキ	325	17	
19325005	境川村 (笛吹市) 小黒坂	100～199	ケヤキ	385	14.5	
19325006	境川村 (笛吹市) 大窪	200～299	ヒノキ	390	27	
19325007	境川村 (笛吹市) 藤袋の滝	300 以上	スギ	380	36	
19325007	境川村 (笛吹市) 藤袋の滝	300 以上	ケヤキ	318	27	
19325007	境川村 (笛吹市) 藤袋の滝	300 以上	スギ	400	35	
19325008	境川村 (笛吹市) 藤袋	300 以上	カヤ	537	23.8	智光寺のカヤ
19325009	境川村 (笛吹市) 藤袋原	300 以上	スギ	430	28	
19325010	境川村 (笛吹市) 藤袋原	300 以上	カヤ	448	23	宗源寺のヒダリマキカヤ
19326001	中道町 (甲府市) 七覚	伝承 500	イチョウ	428	23	円楽寺の大いちよう
19327001	芦川村 (笛吹市) 鶯宿峠	300 以上	ヒノキ	345	17	鶯宿峠のリョウメンヒノキ
19328001	豊富村 (中央市) 関原石原明宅	300 以上	ケヤキ	535	25	
19328001	豊富村 (中央市) 関原石原明宅	300 以上	ケヤキ	510	22	
19328001	豊富村 (中央市) 関原石原明宅	300 以上	ケヤキ	465	25	
19328002	豊富村 (中央市) 関原若宮八幡	200～299	ヒノキ	380	20	
19361001	増穂町 (富士川町) 大柗白山神社	300 以上	ケヤキ	480	21	
19361001	増穂町 (富士川町) 大柗白山神社	300 以上	ケヤキ	405	22	
19361002	増穂町 (富士川町) 昌福寺	300 以上	スギ	340	30	
19361002	増穂町 (富士川町) 昌福寺	300 以上	スギ	334	29	
19361002	増穂町 (富士川町) 昌福寺	300 以上	シラカシ	310	29	
19361002	増穂町 (富士川町) 昌福寺	300 以上	ケヤキ	560	32	
19361003	増穂町 (富士川町) 天神社	300 以上	スギ	820	40	
19361003	増穂町 (富士川町) 天神社	300 以上	スギ	410	40	
19361003	増穂町 (富士川町) 天神社	300 以上	スギ	460	30	
19361003	増穂町 (富士川町) 天神社	300 以上	ケヤキ	570	28	
19361004	増穂町 (富士川町) 芝大権現社	300 以上	ケヤキ	360	20	
19361005	増穂町 (富士川町) 永室神社	300 以上	スギ	820	40	
19361005	増穂町 (富士川町) 永室神社	300 以上	スギ	540	40	
19361005	増穂町 (富士川町) 永室神社	300 以上	スギ	515	40	
19361006	増穂町 (富士川町) 南明寺	300 以上	クロマツ	430	27	
19364003	早川町 下湯島山王神社	300 以上	スギ	1,110	45	湯島の大杉
19385001	田富町 (中央市)	100～199	ケヤキ	318	25	
19385002	田富町 (中央市)	100～199	イチョウ	332	21	
19385003	田富町 (中央市)	100～199	ケヤキ	310	25	
19387005	白根町 (南アルプス市) 在家塚	300 以上	ケヤキ	872	27	大城寺のケヤキ
19389001	若草町 (南アルプス市)	伝承 1000	ケヤキ	1,472	20	三恵の大ケヤキ
19389002	若草町 (南アルプス市) 十日市場神明石動社	伝承 500	ケヤキ	877	24	十日市場の大ケヤキ

注1. 表中の所在地については、資料図書をそのまま記載するため、市町村合併前の旧市町村名等が掲載されている場合がある。なお、現在の市町村名を () 内に記載した。

表 4-2-1-70(5) 対象事業実施区域及びその周囲の巨樹・巨木林

番号	所在地	推定樹齡 (年)	樹種名	幹周	樹高	通称・呼称
				(cm)	(m)	
19390001	橿形町(南アルプス市) 高尾 穂見神社	不明	スギ	560	45	
19390001	橿形町(南アルプス市) 高尾 穂見神社	不明	モミ	340	37	
19390002	橿形町(南アルプス市) 平岡	100~199	ヤシャブシ	470	18	平岡のヤシャブシ
19390003	橿形町(南アルプス市) 上宮 地	不明	イブキ	400	20	
19390004	橿形町(南アルプス市) 上市 之瀬	200~299	イトザクラ	390	15	上市之瀬のイトザクラ
19390005	橿形町(南アルプス市) 中野	伝承 400	ヤマガキ	400	9	中野のヤキ
19390006	橿形町(南アルプス市) 山寺	300 以上	クロマツ	340	16	宝珠寺のクロマツ
19390007	橿形町(南アルプス市) 山寺 八幡神社	不明	ケヤキ	350	25	八幡神社のシラカシ林
19390007	橿形町(南アルプス市) 山寺 八幡神社	不明	ケヤキ	310	20	八幡神社のシラカシ林
19390007	橿形町(南アルプス市) 山寺 八幡神社	不明	ケヤキ	310	20	八幡神社のシラカシ林
19390007	橿形町(南アルプス市) 山寺 八幡神社	不明	ケヤキ	340	25	八幡神社のシラカシ林
19390008	橿形町(南アルプス市) 桃園 連経寺	300 以上	ケヤキ	360	20	
19390009	橿形町(南アルプス市) 曲輪 田	300 以上	エノキ	330	22	紺屋のエノキ
19390010	橿形町(南アルプス市) 小笠 原座神社	300 以上	エノキ	370	25	
19391001	甲西町(南アルプス市) 清水 八幡神社	伝承 400	ケヤキ	550	33	
19391001	甲西町(南アルプス市) 清水 八幡神社	伝承 400	ケヤキ	430	33	
19391002	甲西町(南アルプス市) 和泉	伝承 400	クロマツ	370	19	
19391003	甲西町(南アルプス市) 和泉	伝承 400	カシワ	400	24	
19391004	甲西町(南アルプス市) 鮎沢 古長禅寺	300 以上	イブキ	970	12	古長禅寺のビャクシン
19391004	甲西町(南アルプス市) 鮎沢 古長禅寺	伝承 640	イブキ	650	10	古長禅寺のビャクシン
19391004	甲西町(南アルプス市) 鮎沢 古長禅寺	伝承 640	イブキ	580	15	古長禅寺のビャクシン
19391004	甲西町(南アルプス市) 鮎沢 古長禅寺	伝承 640	イブキ	360	10	古長禅寺のビャクシン
19391004	甲西町(南アルプス市) 鮎沢 古長禅寺	伝承 640	スギ	366	30	
19391005	甲西町(南アルプス市) 湯沢	伝承 400	サイカチ	300	5	湯沢のサイカチ
19391006	甲西町(南アルプス市) 湯沢	伝承 500	スギ	1,000	35	湯沢の思い杉
19391007	甲西町(南アルプス市) 湯沢 広誓院	伝承 500	カヤ	450	12	広誓院のカヤ
19391008	甲西町(南アルプス市) 湯沢 本清寺	伝承 500	カヤ	400	20	本清寺のカヤ
19421001	秋山村(上野原市) 栗谷	不明	スギ	365	35	
19421001	秋山村(上野原市) 栗谷	不明	イチョウ	311	25	
19421002	秋山村(上野原市) 浜沢	300 以上	ケヤキ	800	30	
19422006	道志村 小善地	300 以上	スギ	570	35	
19422007	道志村 竹之本	300 以上	スギ	320	39	

注1. 表中の所在地については、資料図書をそのまま記載するため、市町村合併前の旧市町村名等が掲載されている場合がある。なお、現在の市町村名を()内に記載した。

表 4-2-1-70(6) 対象事業実施区域及びその周囲の巨樹・巨木林

番号	所在地	推定樹齢 (年)	樹種名	幹周	樹高	通称・呼称
				(cm)	(m)	
19422007	道志村 竹之本	300 以上	スギ	402	35	
19422007	道志村 竹之本	300 以上	スギ	420	35	
19422007	道志村 竹之本	300 以上	カヤ	384	12	
19422008	道志村 竹之本	不明	ケヤキ	330	25	
19441004	上野原町 (上野原市) 千足	300 以上	エゾエノキ	480	20	
19441004	上野原町 (上野原市) 千足	300 以上	イチョウ	380	13	
19441008	上野原町 (上野原市) 鶴島	300 以上	ムクノキ	630	23	鶴島のムクノキ
19441009	上野原町 (上野原市) 鶴島	300 以上	イチョウ	510	30	
19441009	上野原町 (上野原市) 鶴島	300 以上	イチョウ	420	30	
19441009	上野原町 (上野原市) 鶴島	300 以上	トチノキ	436	35	

注1. 表中の所在地については、資料図書をそのまま記載するため、市町村合併前の旧市町村名等が掲載されている場合がある。なお、現在の市町村名を()内に記載した。

資料：「第4回自然環境保全基礎調査 巨樹・巨木林調査報告書

甲信越・北陸版(新潟県・富山県・石川県・福井県・山梨県・長野県)」(平成3年、環境庁)

表 4-2-1-71 対象事業実施区域及びその周囲の特定植物群落

番号	名称	所在地	指定状況			保護の現状
			第2回	第3回	第5回	
190001	道志大室指のウラジロガシ林	南都留郡道志村大室指	A	A	A	
190006	大月市浅利のシラカシ林	大月市振岡町浅利	A	A	A	
190007	都留市川棚のアラカシ林	都留市川棚	A	A	A	山梨県自然記念物に指定されている
190008	滝子山のブナ、ミズナラ林	大月市初狩町	A	A	A	山梨県自然環境保全地域に指定されている
190009	三ッ峠のカイフウロ	南都留郡河口湖町	B	B	B	富士箱根伊豆国立公園及び山梨県自然環境保全地域に指定されている
190030	滝戸山のアオギリ林	東八代郡中道町(甲府市)	C	C	C	山梨県自然記念物に指定されている
190031	滝戸山のシラカシ林	東八代郡中道町(甲府市)	A	A	A	山梨県自然記念物に指定されている
190112	高尾のヒメザゼンソウ	中巨摩郡楡形町(南アルプス市)	-	C	C	

注1. 表中の関係地区名については、資料図書をそのまま記載するため、市町村合併前の旧地名等が掲載されている場合がある。なお、現在の地名を()内に記載した。

注2. 「190009 三ッ峠のカイフウロ」については、所在地は河口湖町と記載されているが、都留市に分布している。

注3. 指定状況の記号は以下の選定基準を示す。

<選定基準>

A: 原生林もしくはそれに近い自然林

B: 国内若干地域に分布するが、極めて稀な植物群落または個体群

C: 比較的普通に見られるものであっても、南限・北限・隔離分布等分布限界になる産地に見られる植物群落または個体群

D: 砂丘・断崖地・塩沼地・湖沼・河川・湿地・高山・石灰岩地等の特殊な立地に特有な植物群落または個体群で、その群落の特徴が典型的なもの

E: 郷土景観を代表する植物群落で、特にその群落の特徴が典型的なもの

F: 過去において人工的に植栽されたことが明らかな森林であっても、長期にわたって伐採等の手が入っていないもの

G: 乱獲、その他の人為の影響によって、当該都道府県内で極端に少なくなるおそれのある植物群落または個体群

H: その他、学術上重要な植物群落

資料：「第2回自然環境保全基礎調査 日本の重要な植物群落 甲信越版」(昭和54年、環境庁)

「第3回自然環境保全基礎調査 日本の重要な植物群落 II 甲信越版」(昭和63年、環境庁)

「第5回自然環境保全基礎調査 特定植物群落調査報告書」(平成12年、環境庁)

3) 藻場・干潟・湿地の状況

対象事業実施区域を含む周辺市町村では、藻場・干潟は存在しない。

また、ラムサール条約に登録されている湿地も存在しない。

環境省は、生物多様性保全の観点から重要な湿地を 500 箇所選定している。「日本の重要湿地 500」（環境省）によると、対象事業実施区域を含む周辺市町村に重要湿地は存在しない。

4) 生態系

ア. 生態系の状況

「生物多様性保全のための国土区分（試案）」（平成9年、環境庁）によると、対象事業実施区域及びその周囲は本州中部太平洋側区域に属する。本州中部太平洋側区域は暖温帯に属し、年間降水量は中位で、冬季の積雪は少ない区域となっている。この区域の生物学的特性を示す植生はスタジイ、タブノキ等の照葉樹林である。また、この区域は動物相の固有性が高く、ニホンザル等の生息により特徴づけられる。

対象事業実施区域及びその周囲の生態系は、地形・地質、植生等から総合的に判断すると、①神奈川県境から金川にかけての御坂山地にあたる地域、②金川から富士川町にかけての甲府盆地にあたる地域、③富士川町から静岡県境にかけての巨摩山地、赤石山脈にあたる地域の3地域に区分することができる。なお、各地域の生態系の模式図を図4-2-1-23に示す。

①御坂山地にあたる地域は、山地の樹林環境と一部溪流によって構成される山地の生態系が成立していると考えられる。この地域の植生は「アカマツ植林」、「スギ・ヒノキ・サワラ植林」及び「クリ・ミズナラ群落」等の樹林環境の一部に「カワラマツバ・ススキ群落」等の草原が見られる。この地域に生育する植物種は、樹林では針葉樹のアカマツ等、落葉広葉樹のクリ、ミズナラ等、草地ではカワラマツバ、ススキ等である。これらを基盤環境として生息する特徴的な動物種としては、カモシカ、ニホンノウサギ、ツキノワグマ等の哺乳類、オオルリ、カッコウ等の鳥類、カブトムシ、オオムラサキ等の昆虫類が考えられる。これらを餌とする生態系の上位性の種としてキツネ等の哺乳類、クマタカ、オオタカ等の猛禽類が考えられる。また、溪流ではイワナ、ヤマメ等の魚類、サワガニ、カゲロウ類、トビケラ類等の水生生物が生息し、これらの捕食者となる上位性の種としてイタチ等の哺乳類や、ヤマセミ、カワガラス等の鳥類が考えられる。

②甲府盆地にあたる地域の生態系は、②-1) 御坂山地の裾野の落葉果樹園及び桑園を主体とする地区、②-2) 笛吹川及び釜無川の河川及びその周辺の地区及び、②-3) 市街地と耕作地がモザイク状に存在する地区の3つに細分できる。

②-1) 御坂山地の裾野の落葉果樹園及び桑園を主体とする地区は、ブドウ、モモ等の果樹と桑からなる変化の少ない植生であり、農地の生態系が成立していると考えられる。これらを基盤として生息する特徴的な動物種として、ブドウトラカミキリやカイガラムシ類等の農産物への依存度の高い昆虫類や、ヒヨドリ、ムクドリ等の果実食の鳥類、ニホンザル、ハクビシン等の哺乳類が考えられる。

②-2) 笛吹川及び釜無川の河川及びその周辺の地区では、両河川を主体とした河川の生態系が成立していると考えられる。河畔の植生は攪乱に依存する「ツルヨシ群集」等となる。これらを基盤として生息する特徴的な動物種として、キセキレイやオオヨシキリ等の鳥類、オイカワ、コイ等の魚類、カゲロウ類、トビケラ類等の水生昆虫や、河原に生息するゴミムシ類等の昆虫類が考えられる。また、これらの捕食者となる上位性の種としてイタチ等の哺乳類、カワウ、サギ類等の鳥類が考えられる。

- ②-3) 市街地と耕作地がモザイク状に存在する地区は、人為的影響を強く受け、原生的な自然環境は存在しないと考えられるが、水田の水路や畔、耕作放棄された畑、社寺林等を中心に生物が生息・生育し、農地の生態系が成立していると考えられる。これらを基盤環境として生息する特徴的な動物種としては、ヒヨドリ、ムクドリ等の果実食の鳥類、トノサマガエル、アマガエル等の両生類、タニシ、ヒラタアブ等の水生生物が考えられる。また、これらの捕食者となる上位性の種としてタヌキ等の哺乳類やハシブトガラス等の鳥類が考えられる。
- ③巨摩山地、赤石山脈にあたる地域は、山地の樹林環境と一部溪流によって構成される山地の生態系が成立していると考えられる。この地域の植生は、「ヤマボウシ - ブナ群集」等の原生的な落葉広葉樹、「クヌギ - コナラ群集」等の二次林、「スギ・ヒノキ・サワラ植林」等の人工林である。この地域に生育する植物種は、ブナ、イヌブナ、ミズナラ、クヌギ等の落葉広葉樹、アカマツ、スギ、ヒノキ等の針葉樹等である。これらを基盤環境として生息する特徴的な動物種として、カモシカ、ニホンノウサギ、ツキノワグマ等の哺乳類、ヨタカ、オオルリ、カッコウ等の鳥類、カブトムシ、オオムラサキ等の昆虫類が考えられる。これらの捕食者となる上位性の種として、キツネ等の哺乳類、イヌワシ、クマタカ等の猛禽類が考えられる。また、溪流では、カジカ、イワナ等の魚類、サワガニ、カゲロウ類、トビケラ類等の水生生物が生息し、これらの捕食者としてヤマセミ、カワガラス等の鳥類が考えられる。

①神奈川県境から金川にかけての御坂山地にあたる地域

高 ↑ 栄養段階 ↓ 低		キツネ、クマタカ、 オオタカ等
	イタチ、ヤマセミ、 カワガラス等	カモシカ、ニホンノウサギ、 ツキノワグマ、オオルリ、カッコウ、 カブトムシ、オオムラサキ等
	イワナ、ヤマメ、 サワガニ、カゲロウ類、 トビケラ類等	
基盤環境	開放水域(溪流)	アカマツ植林、スギ・ヒノキ・サワラ植林、 クリ・ミズナラ群落等 カワラマツバー ススキ群落等の草原
生態系区分	山地の生態系	

②金川から富士川町にかけての甲府盆地にあたる地域

高 ↑ 栄養段階 ↓ 低	ニホンザル、ハクビシン、 ヒヨドリ、ムクドリ等	イタチ、カワウ、サギ類等	タヌキ、 ハシブトガラス等
	ブドウトラカミキリ、 カイガラムシ類等	キセキレイ、オオヨシキリ、 オイカワ、コイ、カゲロウ類、 トビケラ類、ゴミムシ類等	ヒヨドリ、ムクドリ、 トノサマガエル、アマガエル、 タニシ、ヒラタアブ等
基盤環境	落葉果樹園、 桑園等	開放水域 (河川)	ツルヨシ群集等 耕作地 市街地
生態系区分	農地の生態系	河川の生態系	農地の生態系

③富士川町から静岡県境にかけての巨摩山地、赤石山脈にあたる地域

高 ↑ 栄養段階 ↓ 低		キツネ、イヌワシ、クマタカ等
	ヤマセミ、カワガラス等	カモシカ、ニホンノウサギ、 ツキノワグマ、ヨタカ、オオルリ、 カッコウ、カブトムシ、オオムラサキ等
	カジカ、イワナ、 サワガニ、カゲロウ類、 トビケラ類等	
基盤環境	開放水域 (溪流)	ヤマボウシ・ブナ群集 クヌギ・コナラ群集 スギ・ヒノキ・サワラ植林
生態系区分	山地の生態系	

図 4-2-1-23 対象事業実施区域及びその周囲の生態系の模式図